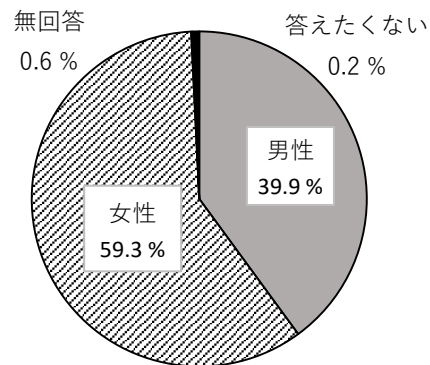


1. 回答者の属性

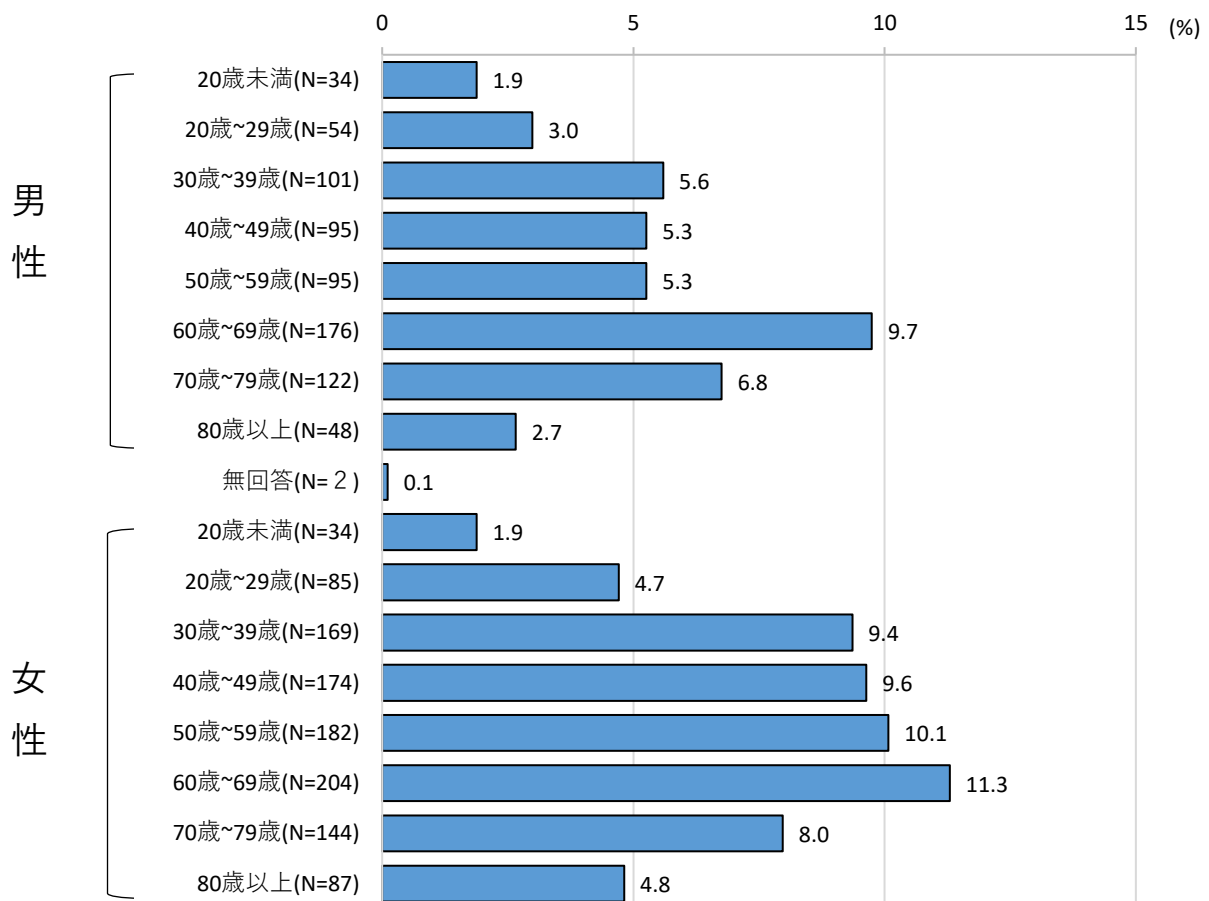
【性別】

全体 (N=1,820)



回答者の性別は、「男性」が39.9%、「女性」が59.3%と女性の割合が高くなっています。

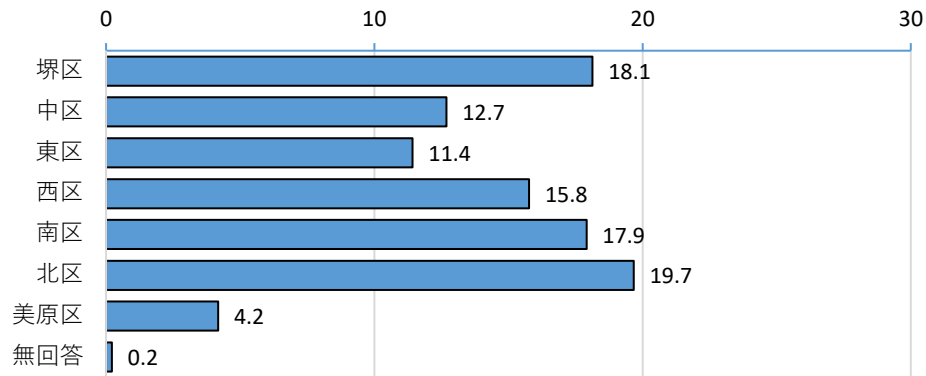
【年齢】



回答者の年齢は、男女ともに「60歳~69歳」の割合が最も高く、男性で9.7%、女性で11.3%となっています。

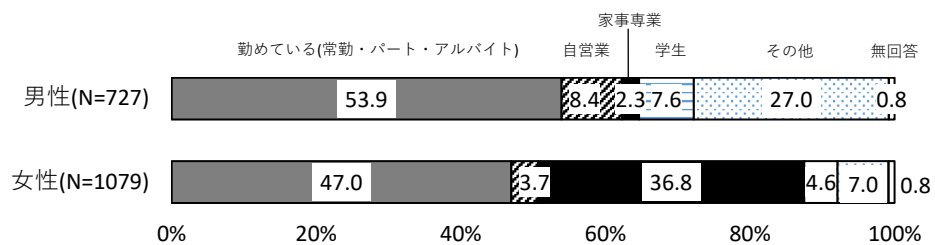
【居住区】全体 (N=1,820)

(%)



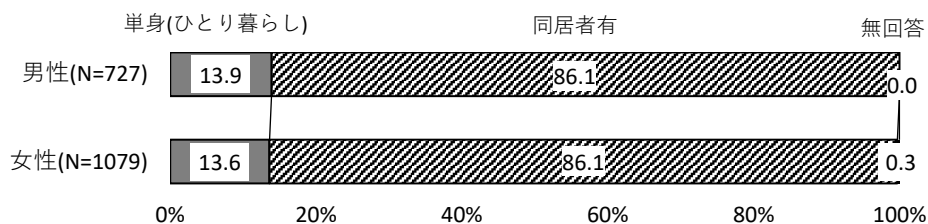
回答者の居住区は、「北区」の割合が最も高くなっています。

【職業】全体 (N=1,806)



回答者の職業は、男女ともに「勤めている（常勤・パート・アルバイト）」の割合が最も高くなっています。

【家族構成】全体 (N=1,806)

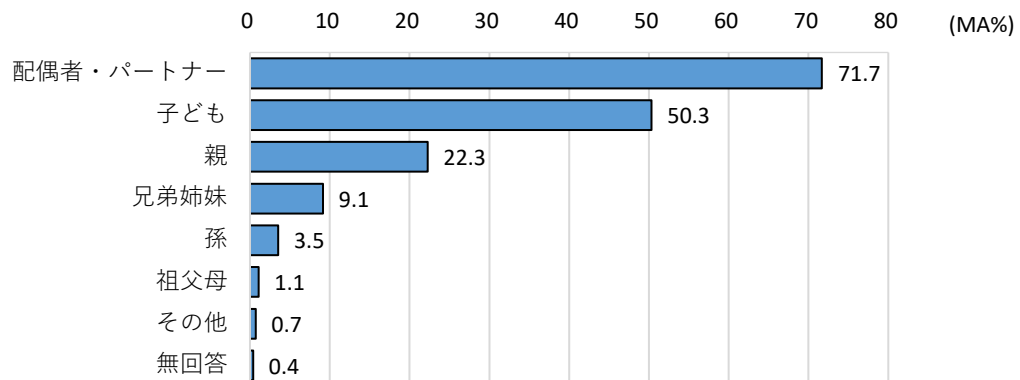


回答者の家族構成は、男女ともに「同居者有」の割合が約9割となっています。

《同居者有の回答者のみ》

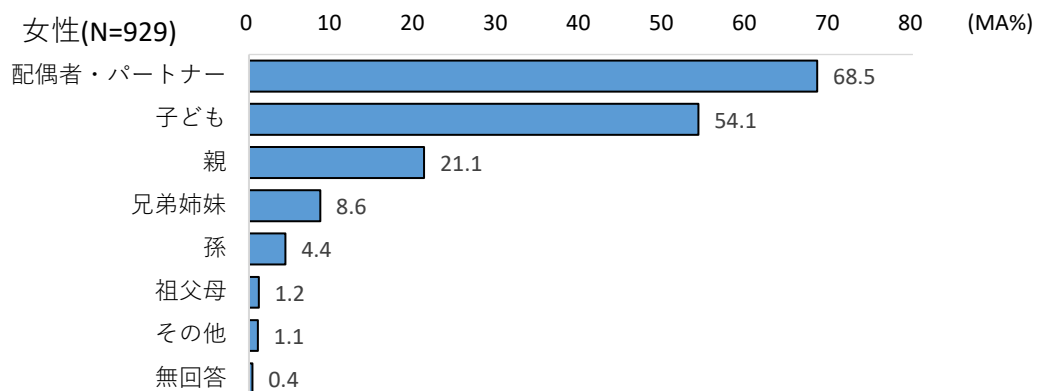
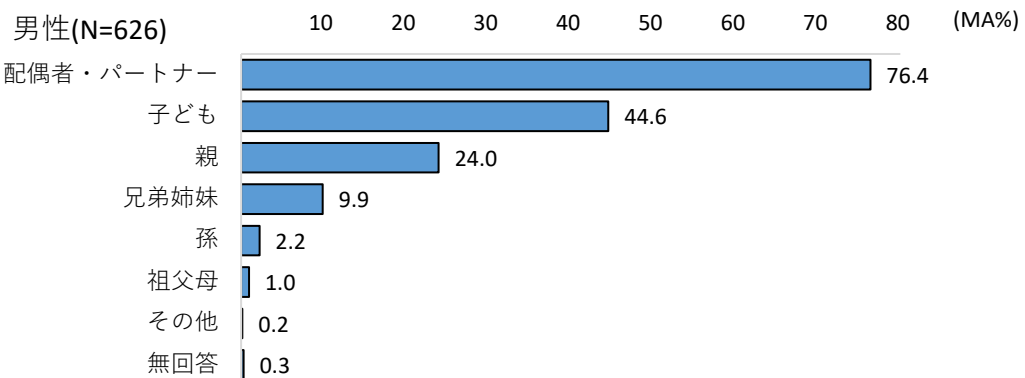
【同居者】

家族と同居（N=1,555）

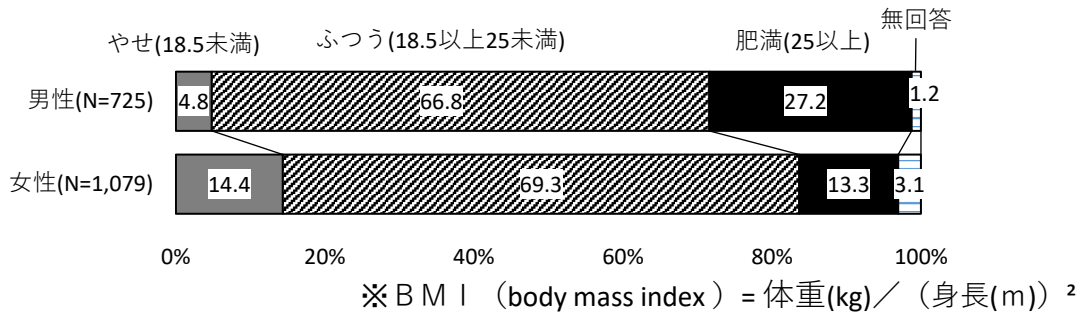


「同居者有」は、「配偶者・パートナー」の割合が71.7%と最も高く、次いで「子ども」が50.3%、「親」が22.3%となっています。

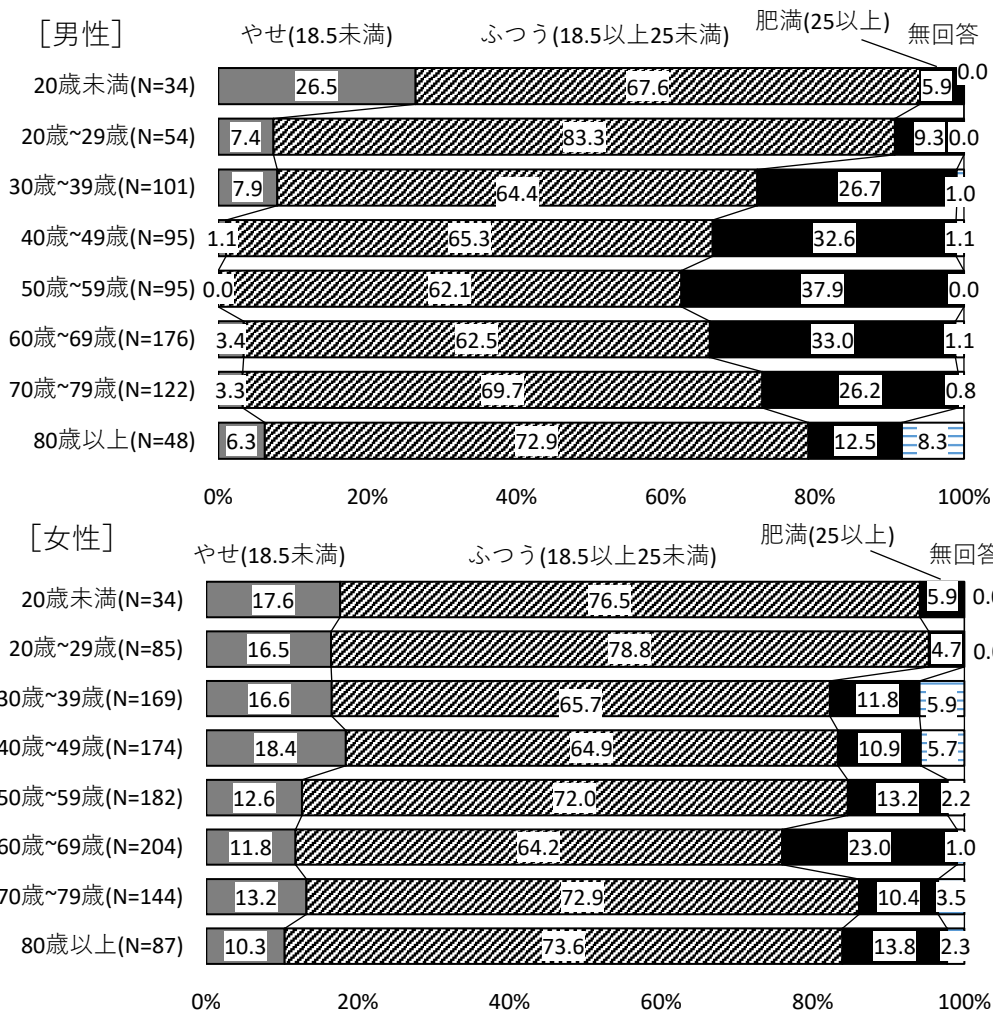
【性別 同居者】



[性別 BMI による体型分類]

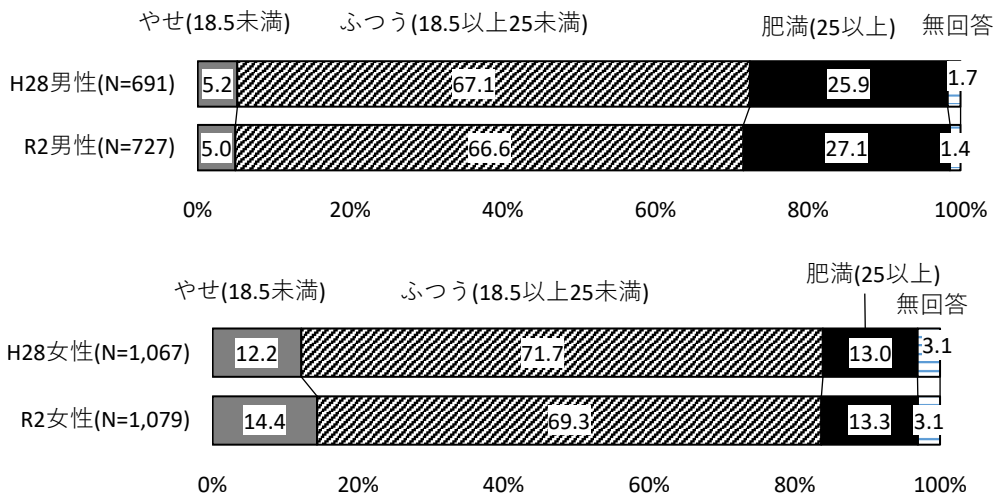


男女ともに「ふつう (18.5以上25未満)」の割合が最も高く、「肥満 (25以上)」では男性が27.2%と高く、「やせ (18.5未満)」では女性が14.4%と高くなっています。



性・年代別にみると、男女ともすべての年代で「ふつう (18.5以上25未満)」の割合が60%を超えています。「やせ (18.5未満)」の割合は、男性の20歳未満で26.5%と最も高く、女性のすべての年代で10%を超えています。「肥満 (25以上)」の割合は、男性の30歳~79歳で25%を超えており、女性の60歳~69歳で23%となっています。

【前回との比較】



前回H28年と比較すると、男女ともに「ふつう（18.5以上25未満）」の割合が減少しています。

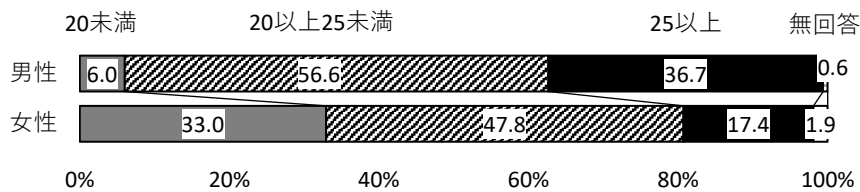
[フレイル予防のための目標とするBMIの基準による体型分類]

※フレイル予防のための目標とするBMIの基準

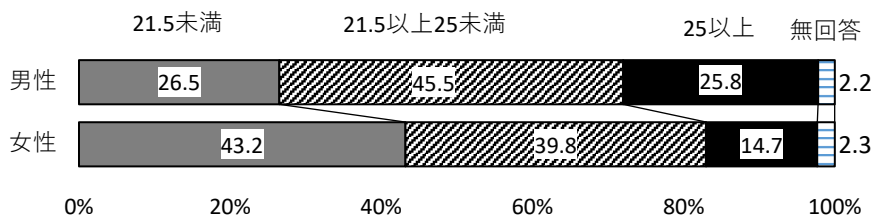
日本人の食事摂取基準(2020年版)では、高齢者のフレイル予防を考慮し、65歳以上の目標とするBMIの範囲の下限が20から21.5に引き上げられ、やせすぎないように促されています。

50歳～64歳：20以上25未満 65歳以上：21.5以上25未満

[50歳～64歳]



[65歳以上]

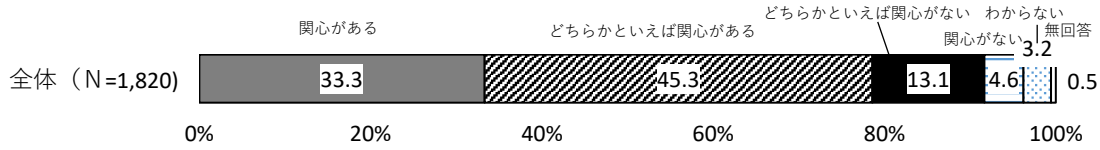


50歳～64歳では、男性の6.0%、女性の33%が目標とするBMIの基準値より低くなっています。

65歳以上では、男性の26.5%、女性の43.2%が目標とするBMIの基準値より低くなっています。

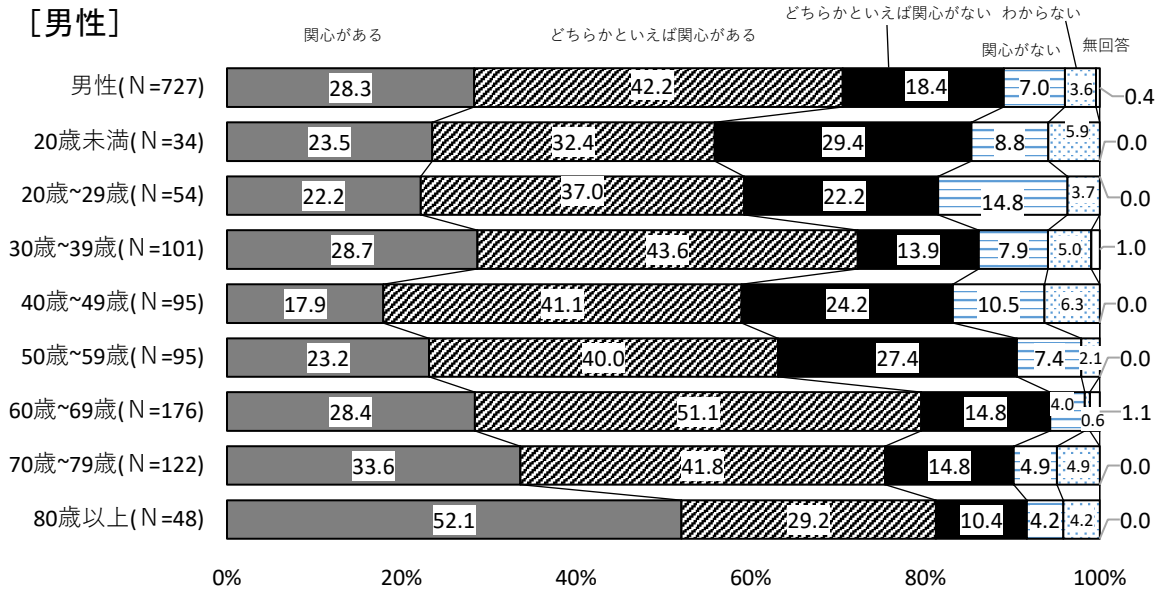
2. 食育について

問1 あなたは「食育」に関心がありますか。それとも関心がありませんか。

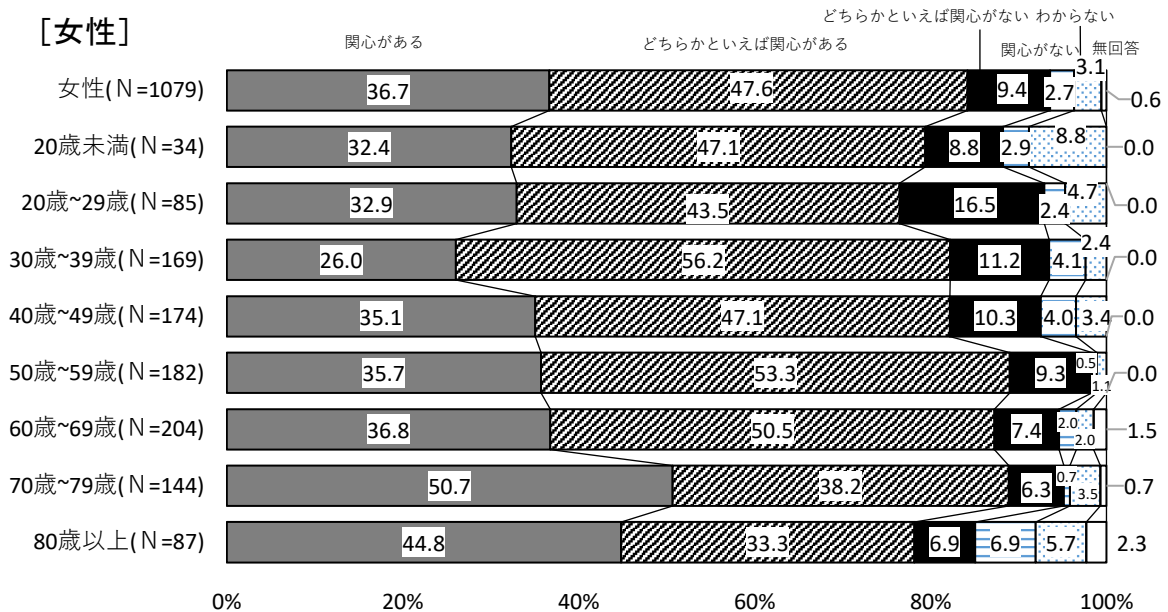


食育への関心について、『関心がある』（「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」の合計）の割合が78.6%となっています。

[男性]

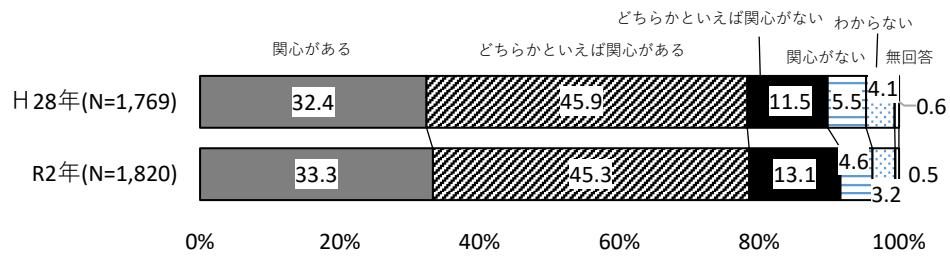


[女性]



性・年代別にみると、『関心がある』の割合は男性の80歳以上で81.3%、女性の50歳~59歳で89.0%と最も高く、80歳以上を除き、女性が高くなっています。

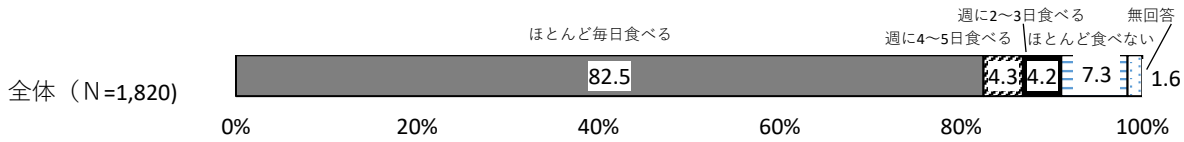
【前回との比較】



前回H28と比較すると、『関心がない』（「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計）の割合が0.7ポイント増加し、「わからない」の割合が0.9ポイント減少しています。

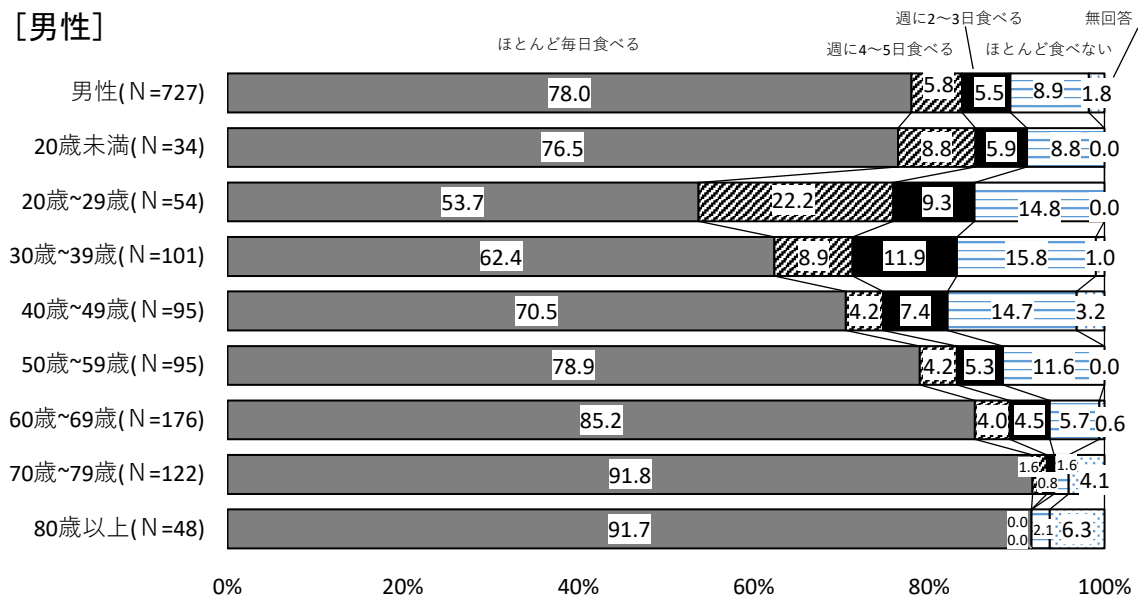
3. 食事の状況について

問2 あなたはふだん朝食を食べますか。

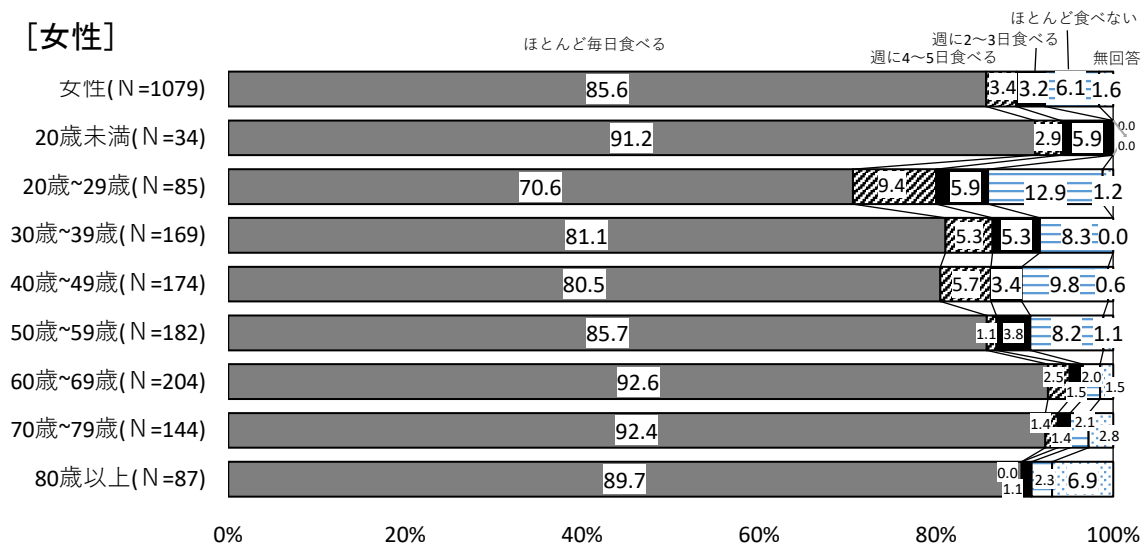


ふだん朝食を食べるかについて、「ほとんど毎日食べる」の割合が82.5%と最も高くなっています。週に4日以上食べない『朝食欠食』（「週に2~3日食べる」と「ほとんど食べない」の合計）の割合が11.5%となっています。

[男性]

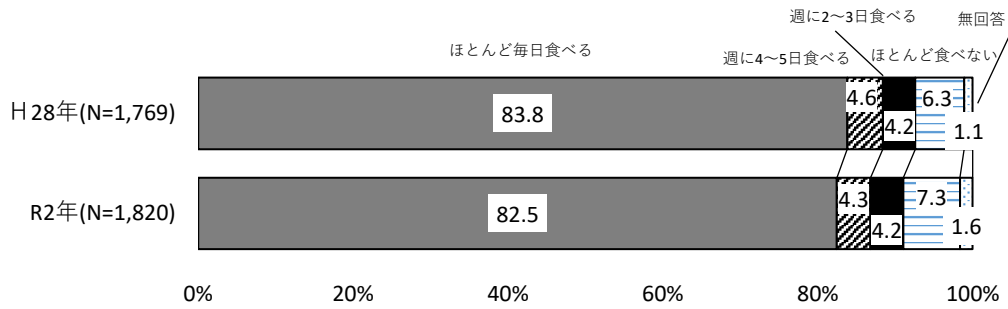


[女性]



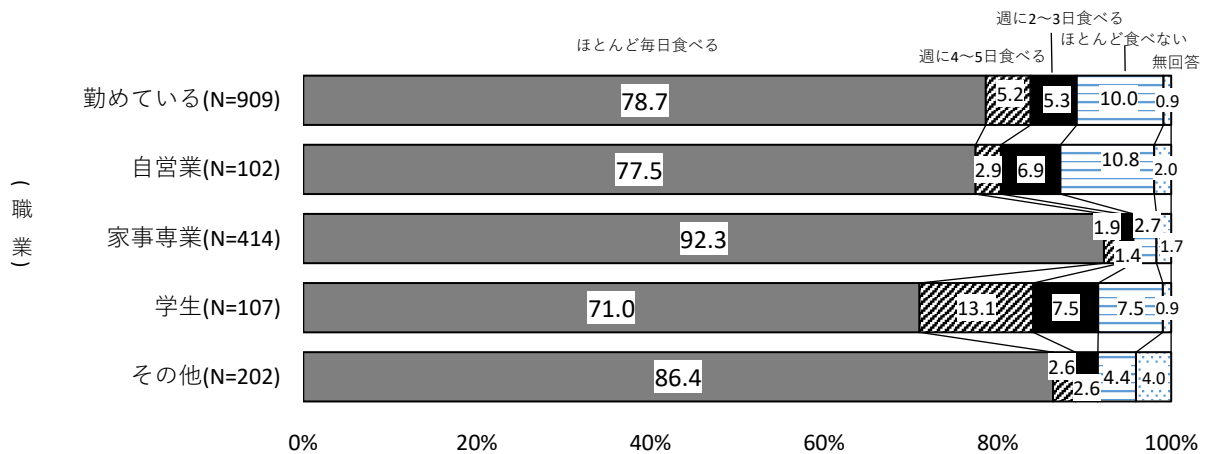
性・年代別にみると、『朝食欠食』の割合は、男性の20歳~49歳で20%を超え、他の年代と比べて高くなっています。

【前回との比較】



前回H28年と比較すると、「ほとんど毎日食べる」の割合が1.3ポイント減少し、『朝食欠食』の割合が1.0ポイント増加しています。

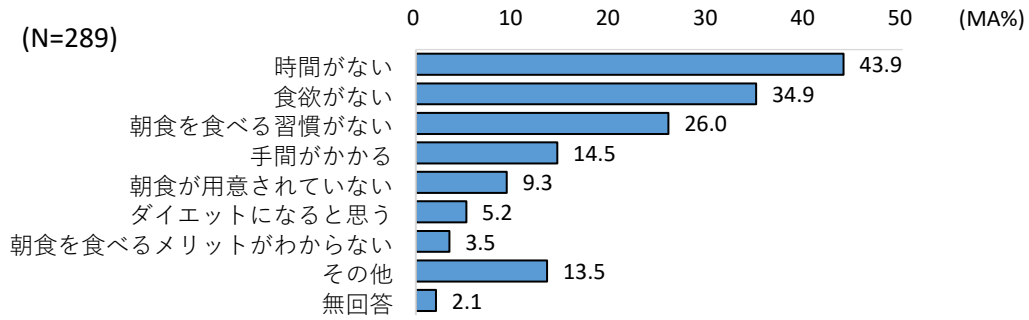
[職業の分類別 朝食の摂取状況]



職業別で見ると、「ほとんど毎日食べる」割合は家事専業で、92.3%と最も高く、学生が71.0%と最も低くなっています。

《問2で 2週に4～5日食べる・3週に2～3日食べる・3.ほとんど食べないと回答した方のみ》

問3 あなたが朝食を食べない理由は何ですか。



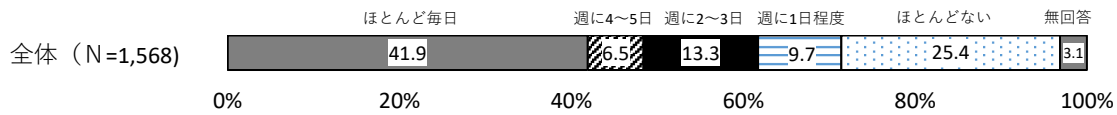
朝食を食べない理由について、「時間がない」の割合が43.9%と最も高く、次いで「食欲不振」が34.9%、「朝食を食べる習慣がない」が26.0%となっています。

		N	手間がかかる	時間がない	食欲不振	ダイエットになると思う	朝食を食べる習慣がない	知らない	朝食を食べるメリットがわからない	朝食が用意されていない	その他	無回答
全体		289	14.5	43.9	34.9	5.2	26.0	3.5	9.3	13.5	2.1	
男性	総数	147	17.0	49.7	29.3	4.1	25.2	5.4	12.9	12.9	1.4	
	20歳未満	8	12.5	50.0	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	
	20歳～29歳	25	28.0	52.0	28.0	0.0	24.0	0.0	32.0	12.0	4.0	
	30歳～39歳	37	27.0	56.8	29.7	5.4	21.6	8.1	10.8	10.8	0.0	
	40歳～49歳	25	16.0	72.0	12.0	4.0	20.0	4.0	12.0	4.0	0.0	
	50歳～59歳	20	5.0	50.0	50.0	5.0	25.0	5.0	5.0	0.0	0.0	
	60歳～69歳	25	8.0	20.0	28.0	8.0	40.0	8.0	4.0	28.0	4.0	
	70歳～79歳	5	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
女性	総数	138	12.3	37.7	41.3	6.5	27.5	1.4	5.8	13.8	2.9	
	20歳未満	3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳～29歳	24	16.7	54.2	37.5	8.3	25.0	0.0	20.8	12.5	0.0	
	30歳～39歳	32	18.8	53.1	34.4	6.3	15.6	3.1	9.4	9.4	0.0	
	40歳～49歳	33	12.1	30.3	30.3	12.1	39.4	3.0	0.0	12.1	6.1	
	50歳～59歳	24	4.2	25.0	45.8	4.2	54.2	0.0	0.0	20.8	4.2	
	60歳～69歳	12	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	
	70歳～79歳	7	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	
	80歳以上	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	

性・年代別にみると、『朝食欠食』の割合が高かった男性の20歳～49歳では「時間がない」の割合が最も高くなっています。

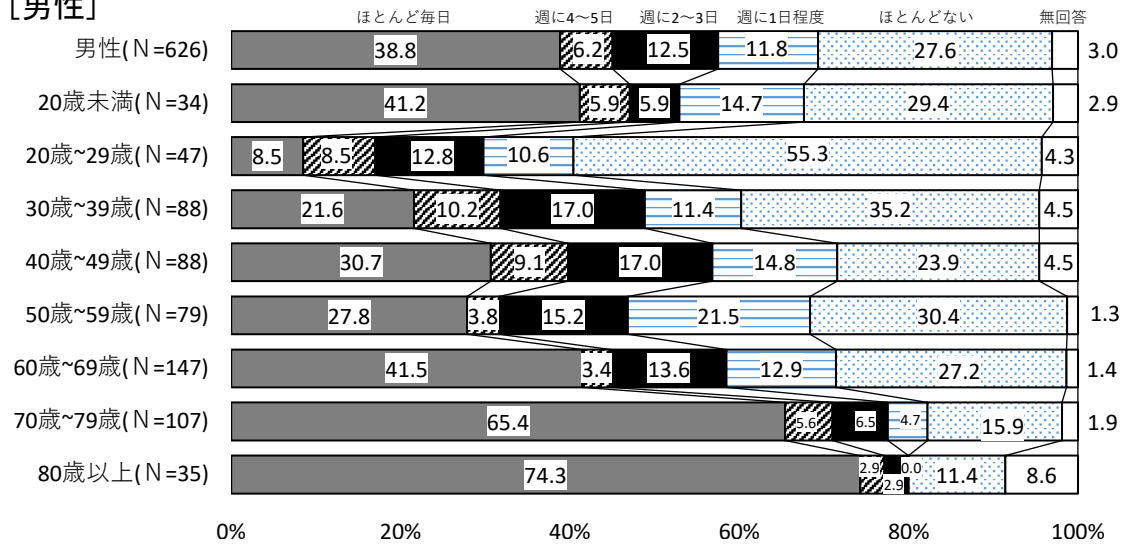
《同居者有の回答者のみ》

問4 あなたは朝食を誰かと一緒に食べることはどのくらいありますか。

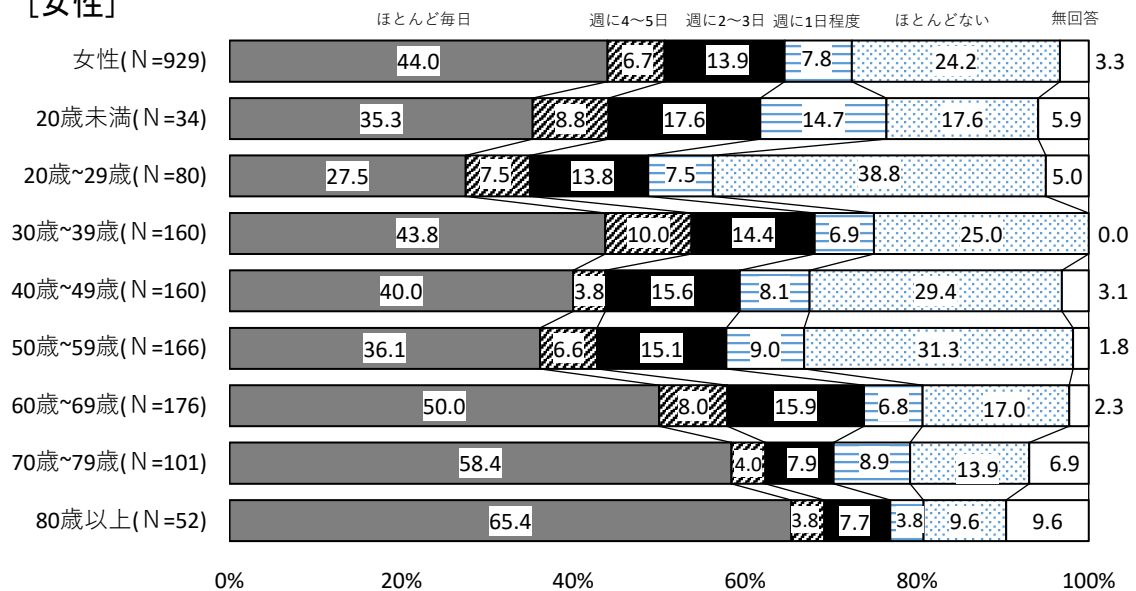


朝食を誰かと一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日」の割合が41.9%と最も高く、「ほとんどない」の割合は25.4%となっています。

【男性】



【女性】



性・年代別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男女ともに20歳~29歳で最も低く、70歳以上で50%を超えています。

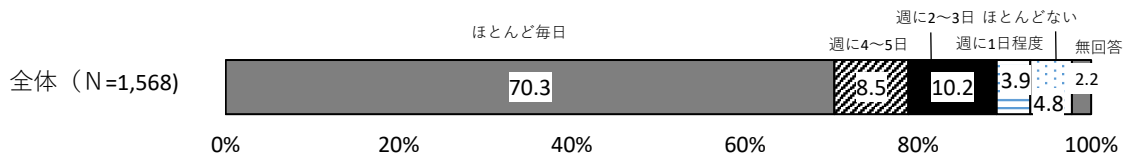
また、朝食の共食平均回数は週3.7回となっています。

※「ほとんど毎日」を週7回、「週に4~5日」を4.5回、「週に2~3日」を2.5回、「週に1日程度」を1回として、人数を掛けて合計したものを全体数（無回答を除く）で割ったもの。

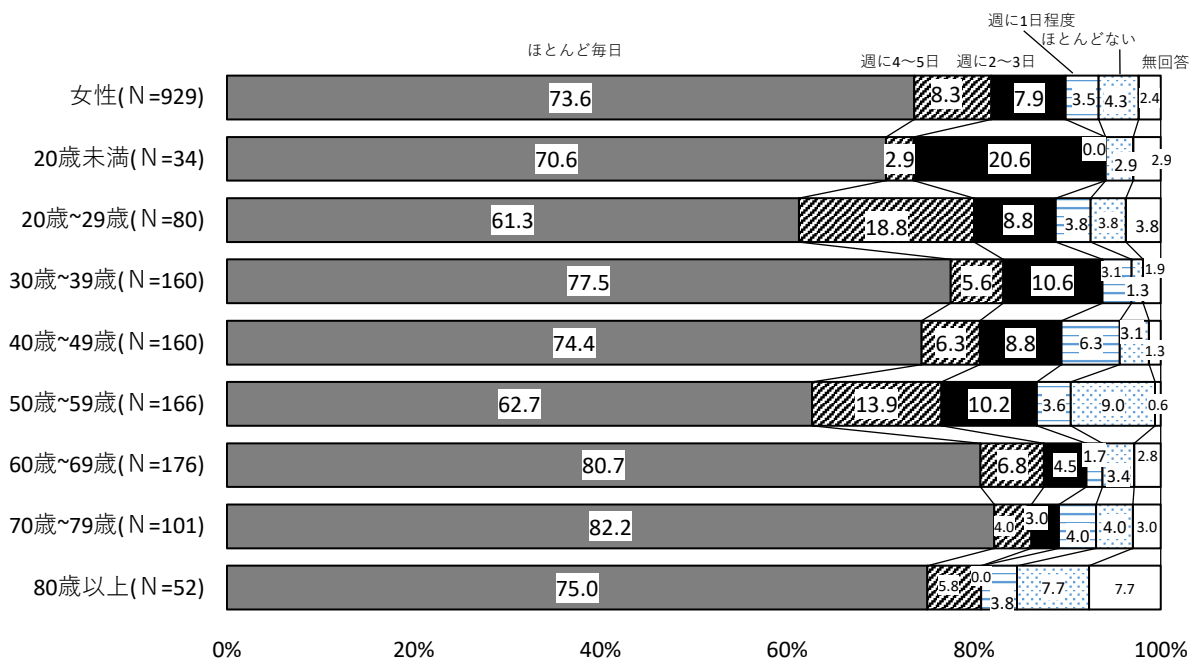
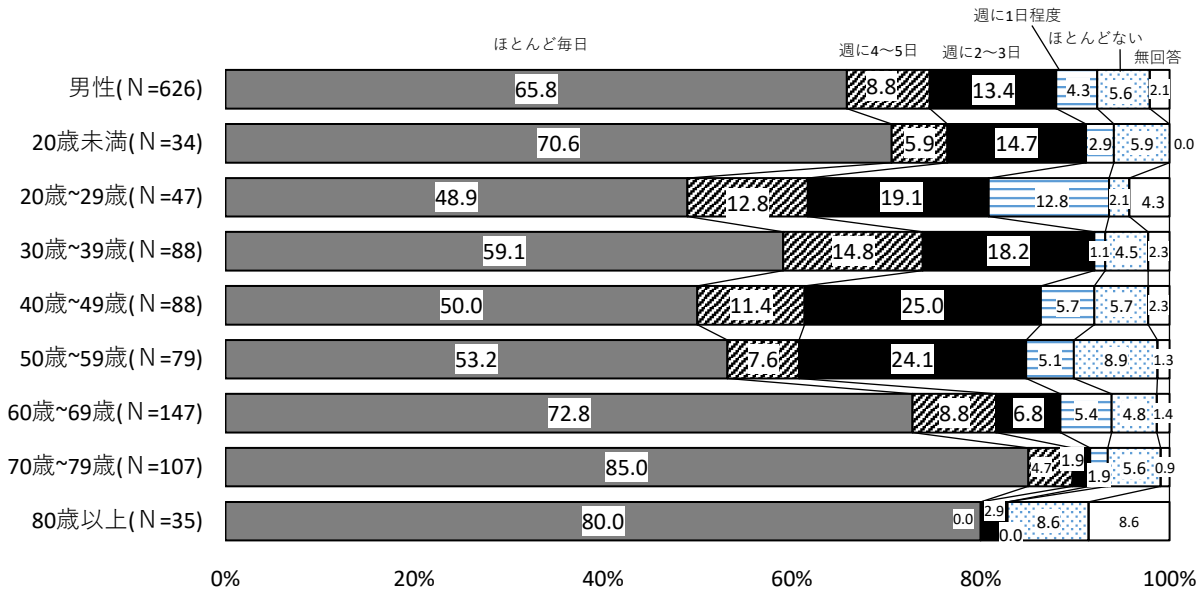
※共食とは、一人で食べるのではなく、家族や友人など誰かと共に食事をするこ

《同居者有の回答者のみ》

問5 あなたは夕食を誰かと一緒に食べることはどのくらいありますか。



夕食を誰かと一緒に食べる頻度について、「ほとんど毎日」の割合が70.3%と最も高く、「ほとんどない」の割合は4.8%となっています。

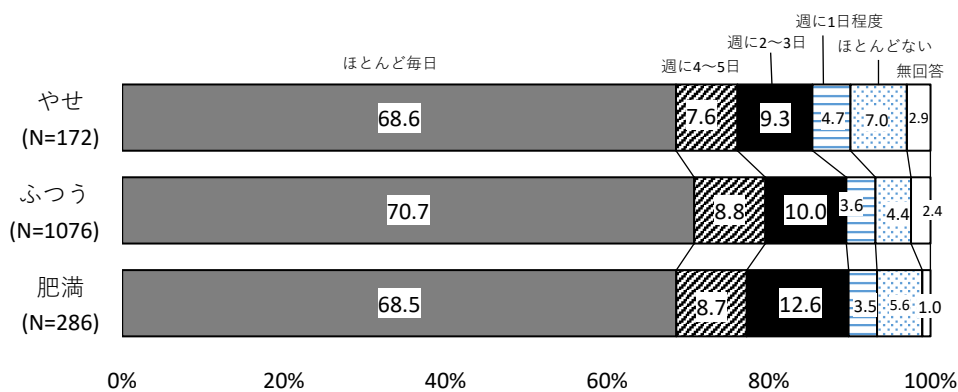


性・年代別にみると、男性の20歳～29歳、40歳～49歳を除き、「ほとんど毎日」の割合が50%を超えています。男性の70歳以上、女性の60歳～79歳では80%を超えています。また、夕食の共食平均回数は週5.6回となっています。

※「ほとんど毎日」を週7回、「週に4～5日」を4.5回、「週に2～3日」を2.5回、「週に1日程度」を1回として、人数を掛けて合計したものを全体数（無回答を除く）で割ったもの。

朝夕の共食の状況を平均回数で見ると、朝食の共食平均回数は週3.7回、夕食の共食平均回数は週5.6回、合計週9.3回となっています。

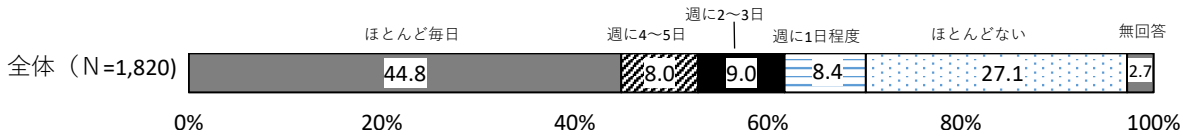
[BMIによる体格分類別 夕食の共食頻度]



※BMIの区分は、やせ(18.5未満)、ふつう(18.5以上～25未満)、肥満(25以上)です。

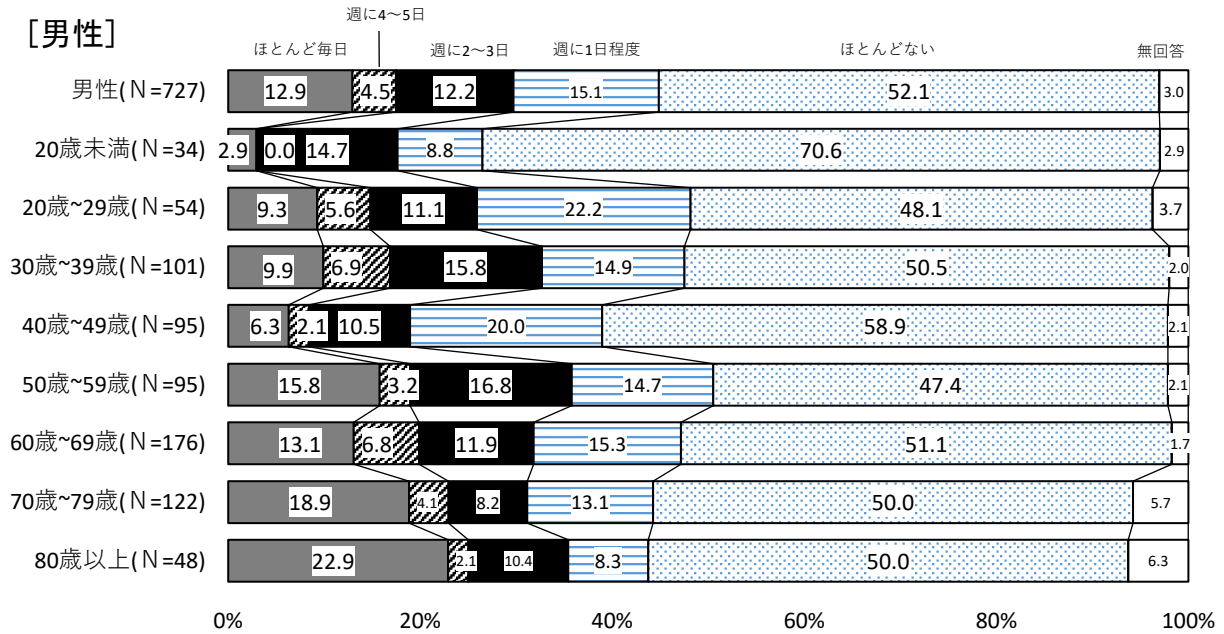
BMIによる体格分類別にみると、すべての体格分類で「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。

問6 あなたはふだん自分で料理をすることはどのくらいありますか。簡単な料理を含みます。

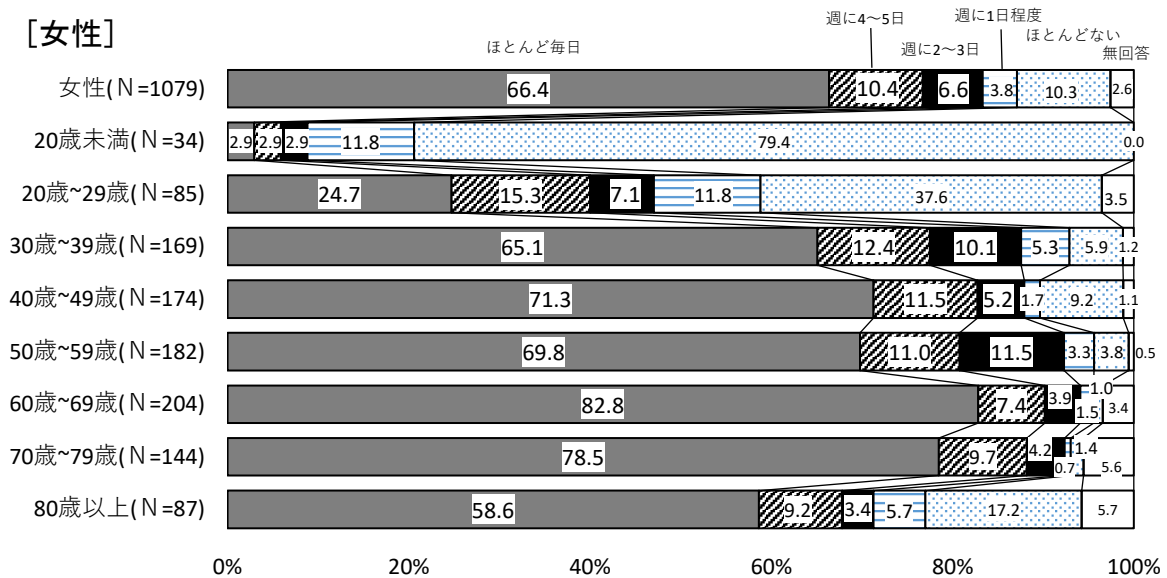


ふだん自分で料理を作る頻度について、「ほとんど毎日」の割合が44.8%と最も高く、「ほとんどない」の割合は27.1%となっています。

[男性]

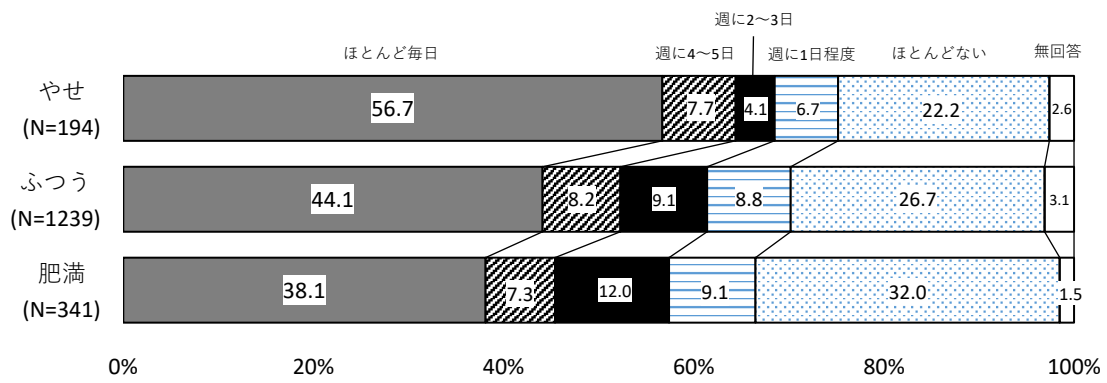


[女性]



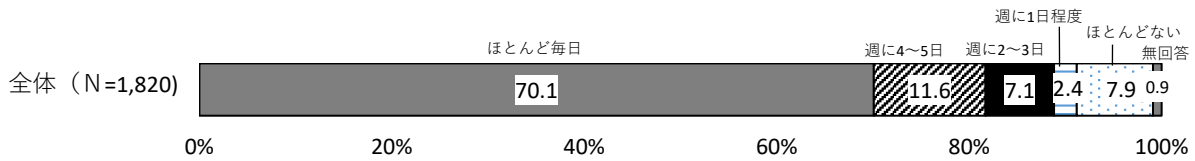
性・年代別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男女ともに20歳未満で2.9%と低くなっています。女性では、30歳~79歳で「ほとんど毎日」の割合が60%から80%台となっています。

[BMIによる体格分類別 自炊頻度]



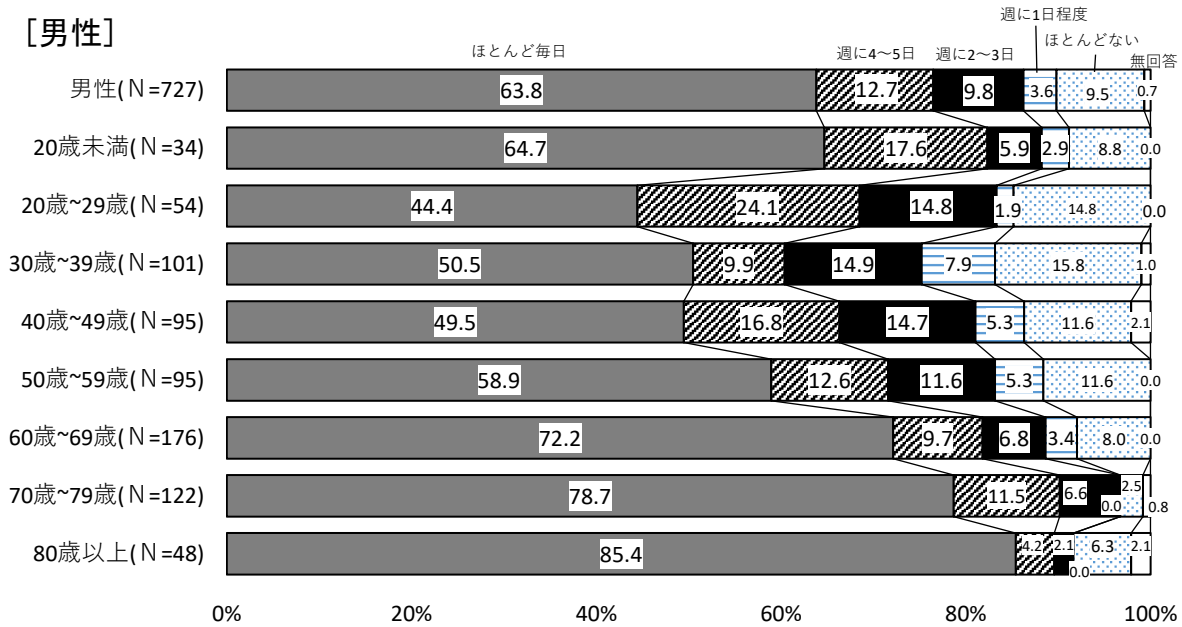
BMIによる体格分類別にみると、すべての区分で「ほとんど毎日」が最も高くなっています。
 肥満は「ほとんどない」が32.0%と他の区分に比べ高くなっています。

問7 あなたは食事を朝・昼・夕1日3回、規則正しく食べることはどのくらいありますか。

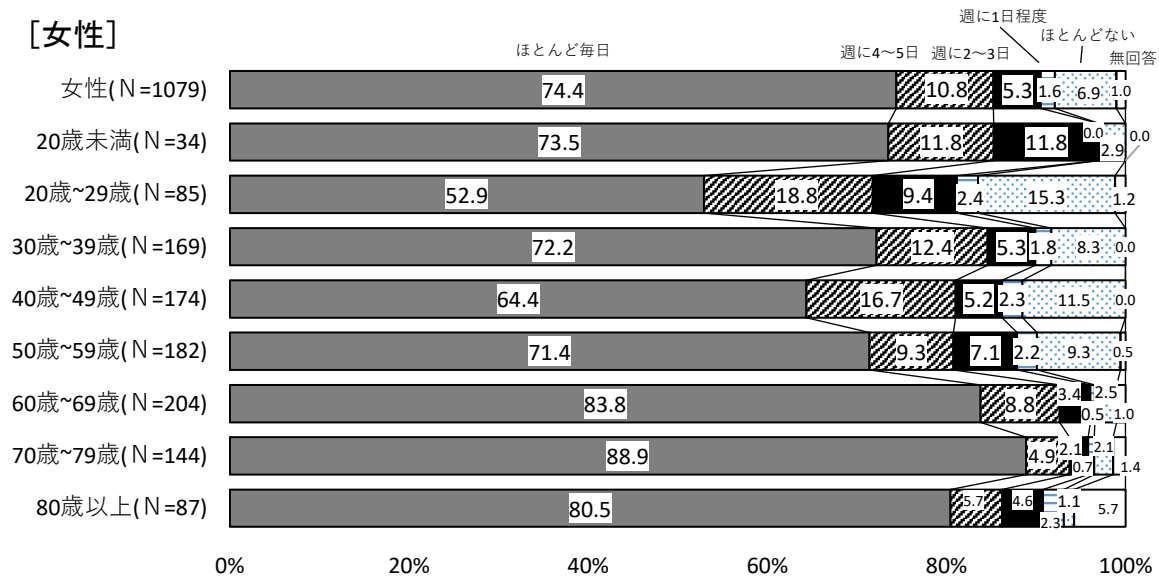


食事を朝・昼・夕1日3回規則正しく食べる頻度について、「ほとんど毎日」の割合が70.1%、「ほとんどない」の割合が7.9%となっています。

[男性]

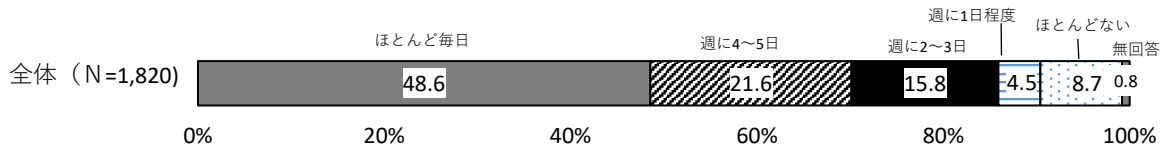


[女性]



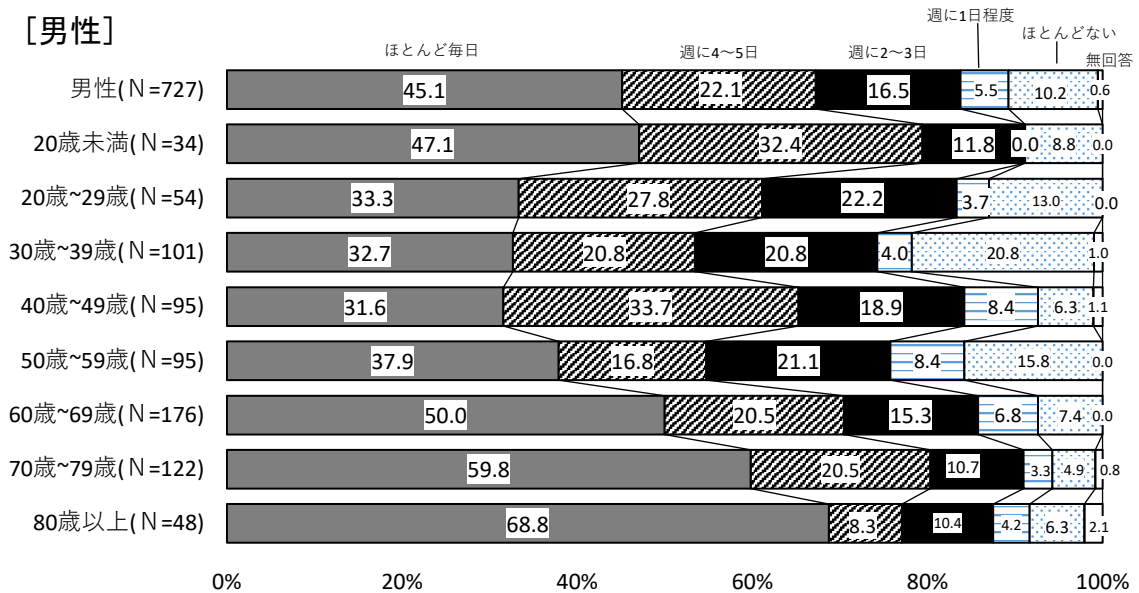
性・年代別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男性の80歳以上で85.4%、女性の70歳~79歳で88.9%と最も高く、男性の20歳~49歳、女性の20歳~29歳で他の年代に比べて低くなっています。

問8 あなたは主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、どのくらいありますか。

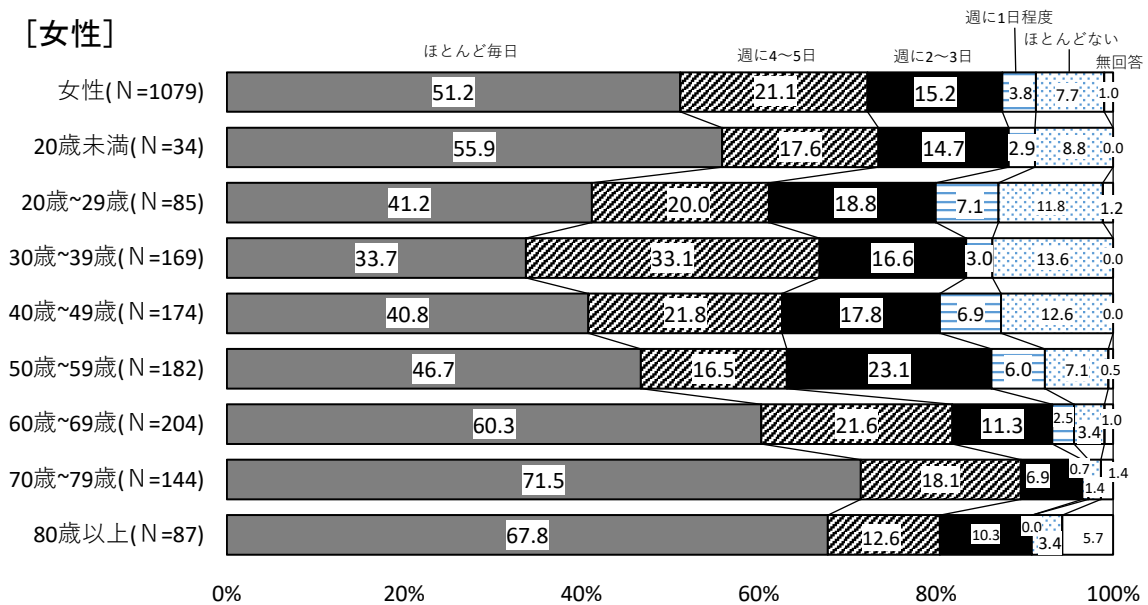


主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上ある頻度について、「ほとんど毎日」の割合が48.6%、「ほとんどない」の割合が8.7%となっています。『栄養バランスを考えて食事をとっている』（「ほとんど毎日」と「週に4~5日」と「週に2~3日」の合計）人の割合は86.0%となっています。

[男性]

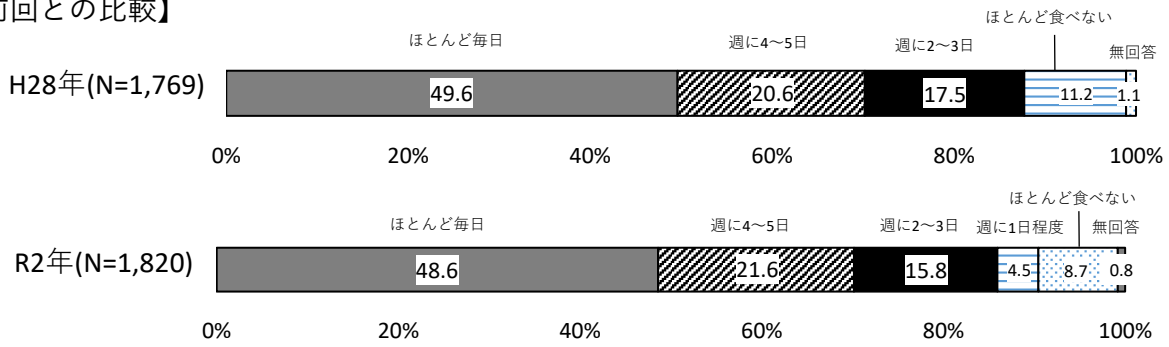


[女性]



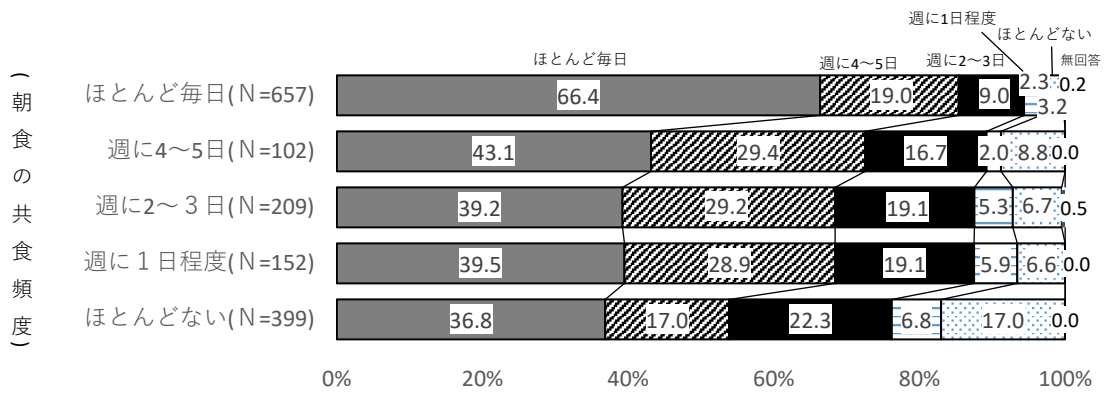
性・年代別にみると、「ほとんど毎日」の割合は、男女ともに60歳以上で他の年代に比べて高くなっています。「ほとんどない」の割合は、男性の30歳~39歳で他の年代に比べて高くなっています。

【前回との比較】



前回H28年と比較すると、『栄養バランスを考えて食事をとっている人』の割合は1.7ポイント減少しています。

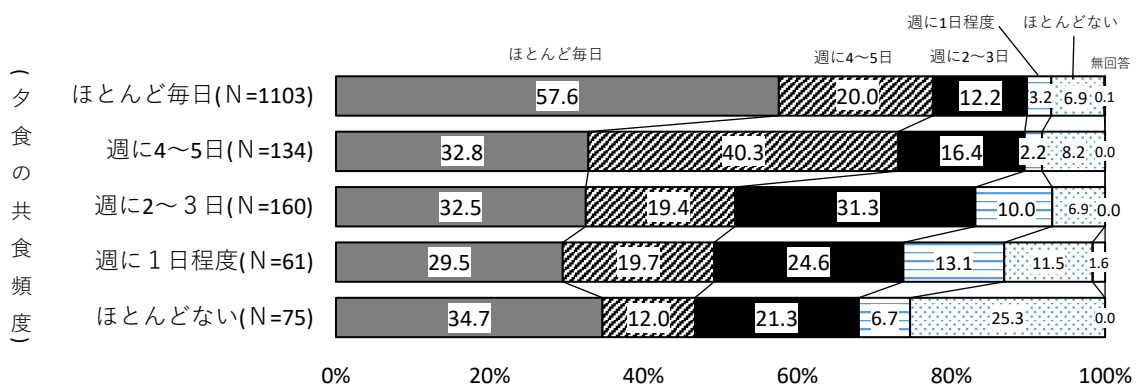
[朝食の共食頻度別 主食・主菜・副菜を1日2回以上そろえて食べる頻度]



朝食の共食頻度別にみると、すべての区分（頻度別）で「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人では「ほとんど毎日」の割合が66.4%と高くなっています。

※共食とは、1人で食べるのではなく、家族や友人など誰かと共に食事をする事

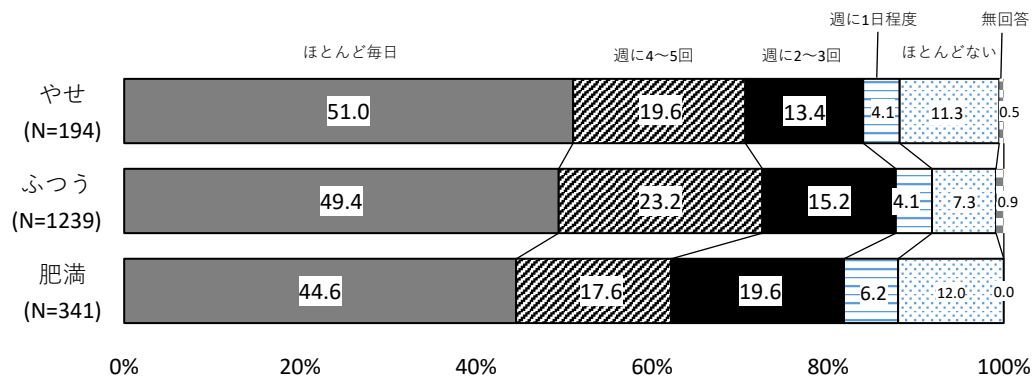
[夕食の共食頻度別 主食・主菜・副菜を1日2回以上そろえて食べる頻度]



夕食の共食頻度別にみると、週に4~5日（頻度別）を除き「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。

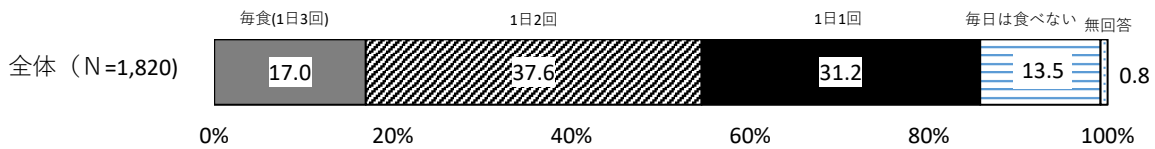
共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人では「ほとんど毎日」の割合が57.6%となっています。

[BMIによる体格分類別 主食・主菜・副菜を1日2回以上そろえて食べる頻度]



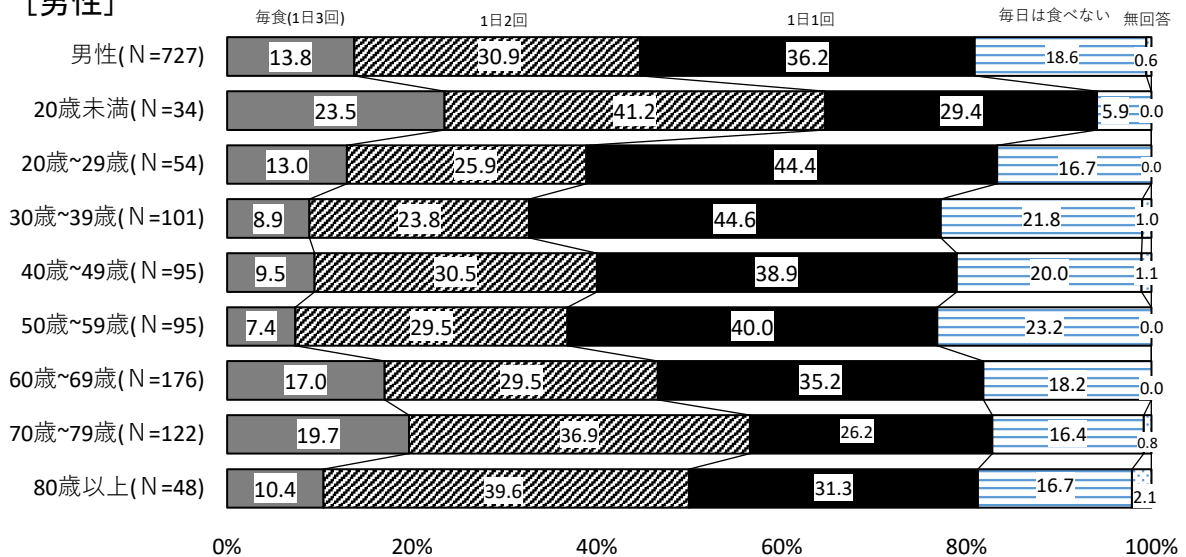
BMIによる体格分類別にみると、すべての体格分類で「ほとんど毎日」の割合が最も高くなっています。

問9 あなたは野菜料理（漬物を除く）を1日何回食べますか。

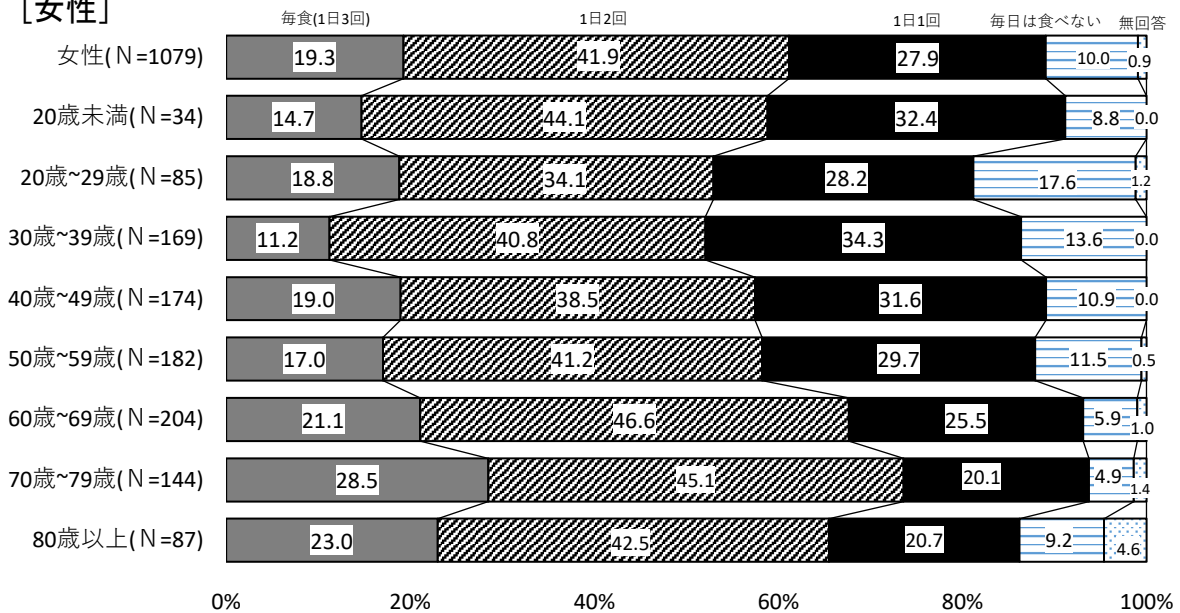


野菜料理（漬物を除く）を食べる回数について、「毎食（1日3回）」の割合は17.0%、『野菜を毎日食べる』（「毎食（1日3回）」と「1日2回」と「1日1回」の合計）の割合は85.8%となっています。

[男性]

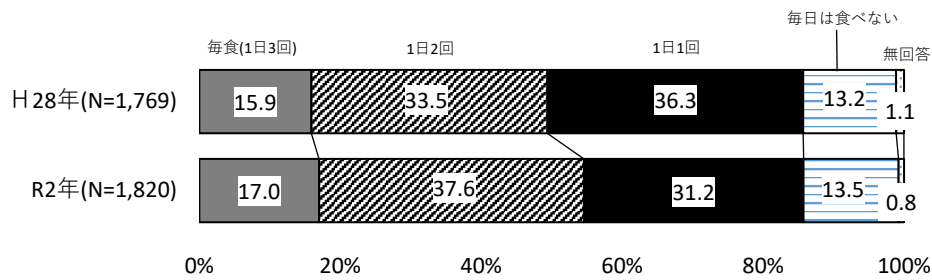


[女性]



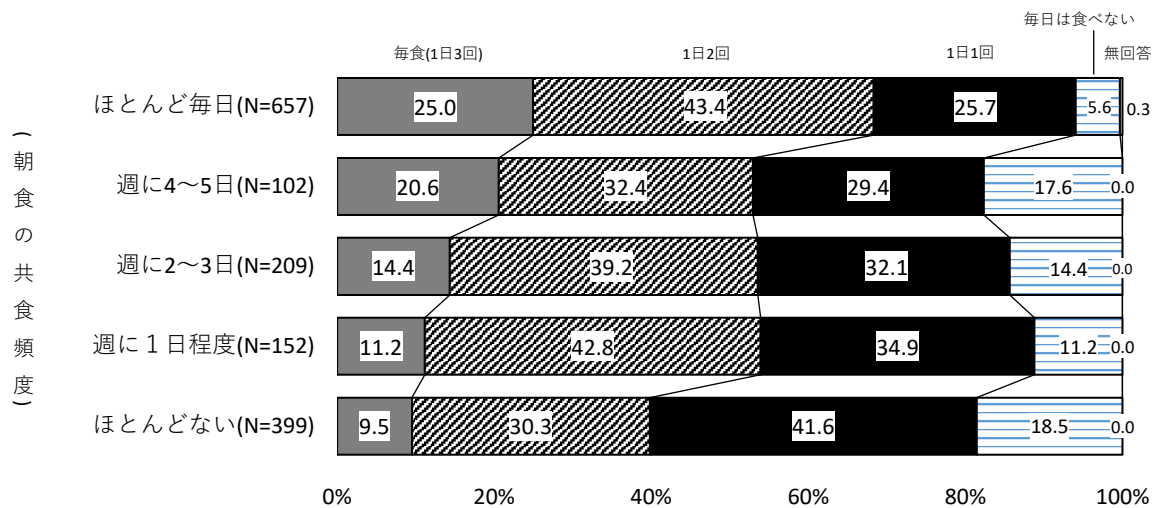
性・年代別にみると、野菜料理を「毎日は食べない」の割合は、男性の30歳～59歳で20%を超えています。

【前回との比較】



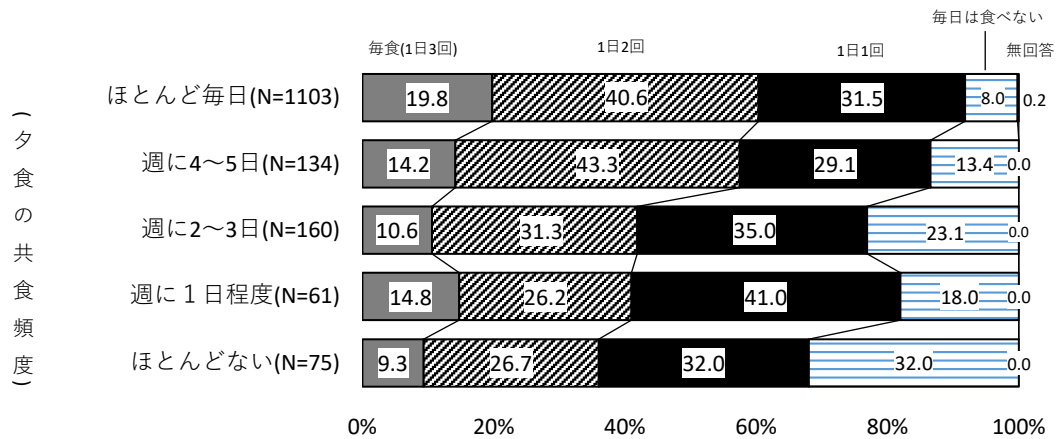
前回H28年と比較すると、「1日2回」の割合が4.1ポイント増加し、「1日1回」の割合が5.1ポイント減少しています。

[朝食の共食頻度別 野菜の摂取状況]



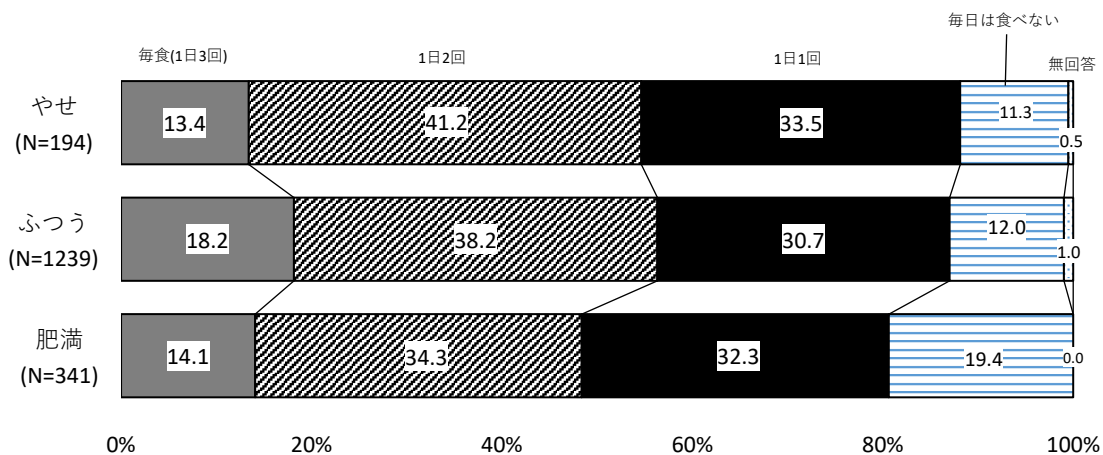
朝食の共食頻度別にみると、朝食の共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人では、「毎食（1日3回）」が25.0%、「1日2回」が43.4%と高くなっています。
 共食の機会がほとんどない区分（頻度別）の人では、「毎日食べない」が18.5%となっています。

[夕食の共食頻度別 野菜の摂取状況]



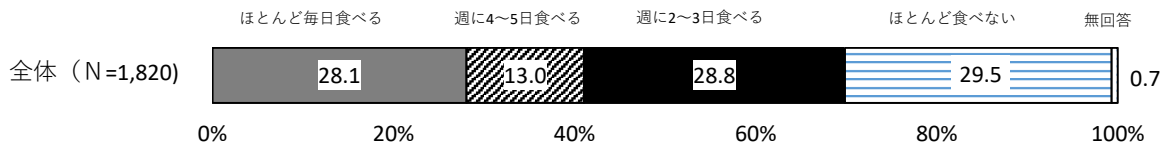
夕食の共食頻度別にみると、夕食の共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人では、「毎食（1日3回）」が19.8%、「1日2回」が40.6%と高くなっています。
共食の機会がほとんどない区分（頻度別）の人では、「毎日は食べない」が32.0%となっています。

[BMIによる体格分類別 野菜の摂取頻度]



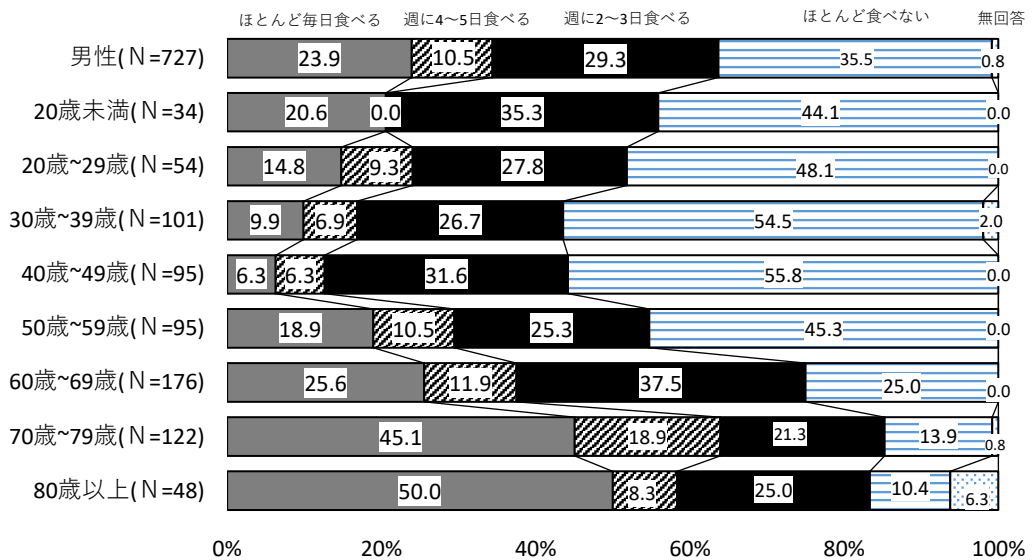
BMIによる体格分類別にみると、すべての体格分類で「1日2回」の割合が高くなっています。毎食（1日3回）野菜を食べる人の割合は、「ふつう」で最も高く、18.2%となっています。「肥満」では「毎日は食べない」の割合が「やせ」と「ふつう」に比べ高くなっています。

問10 あなたは果物を週にどのくらい食べますか。

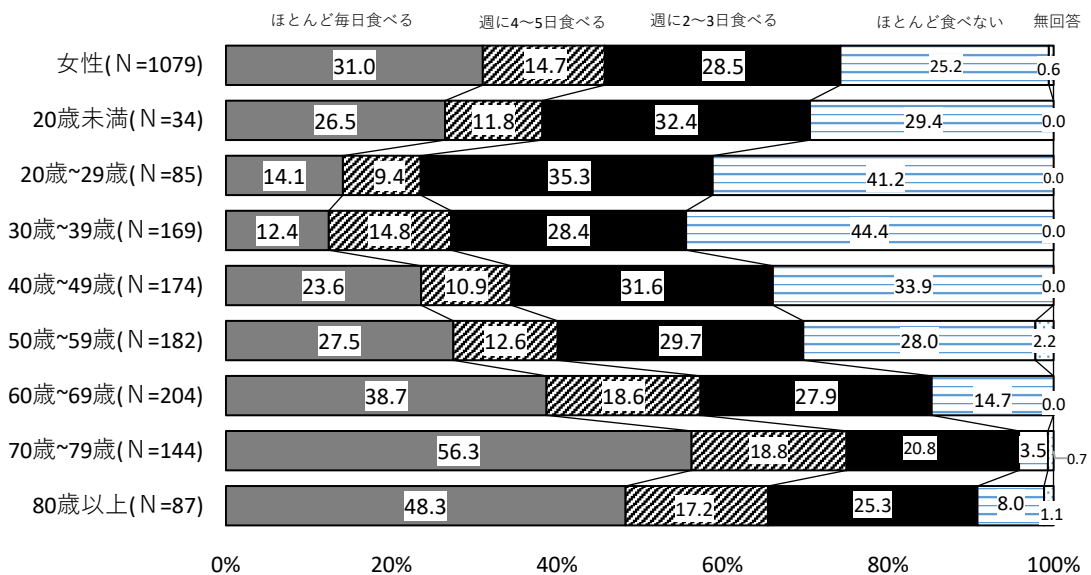


果物を週にどのくらい食べるかについて、「ほとんど毎日食べる」の割合が28.1%、「週に4~5日食べる」は13.0%、「週に2~3日食べる」は28.8%となっています。「ほとんど食べない」の割合が29.5%となっています。

[男性]

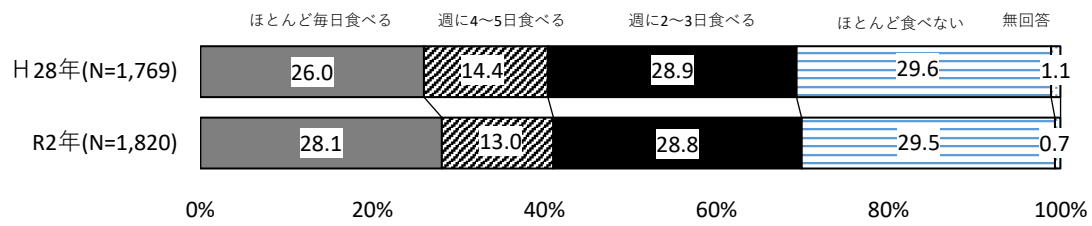


[女性]



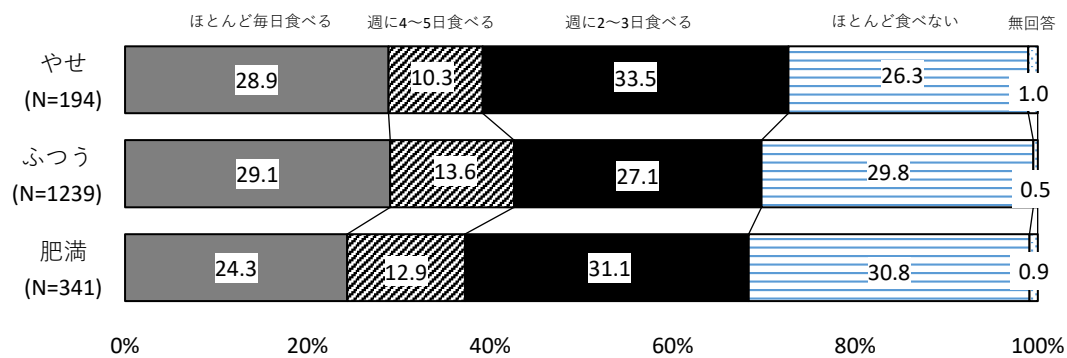
性・年代別にみると、男性の59歳以下、女性の20歳~49歳で「ほとんど食べない」の割合が最も高くなっています。男女とも70歳以上では、「ほとんど毎日食べる」の割合が最も高くなり、男女とも40%を超えています。

【前回との比較】



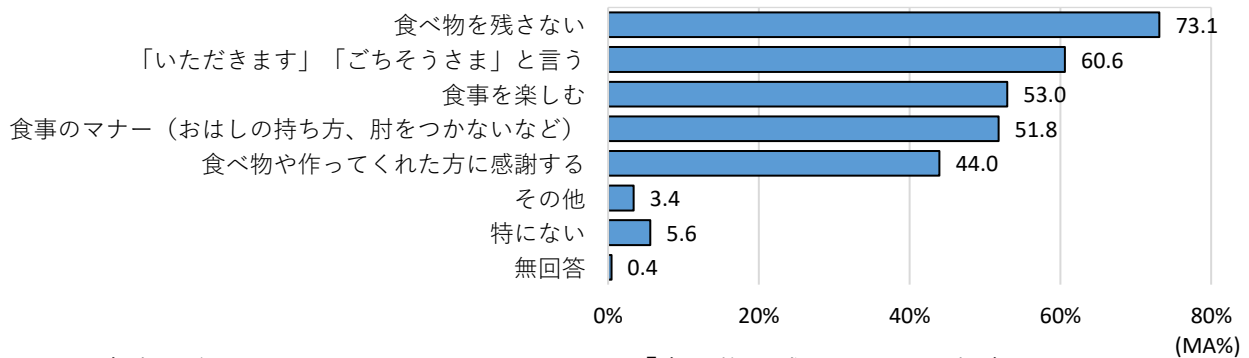
前回H28年と比較すると、「ほとんど毎日食べる」の割合が2.1ポイント増加しています。

[BMIによる体格分類別 果物の摂取頻度]



BMIによる体格分類別にみると、「ふつう」は「ほとんど毎日食べる」「週に4~5日食べる」の合計の割合が40%を超えています。

問11 あなたは食事の際に心がけていることはありますか。



食事の際に心がけていることについて、「食べ物を残さない」の割合が73.1%と最も高く、次いで「『いただきます』『ごちそうさま』と言う」が60.6%、「食事を楽しむ」が53.0%などとなっています。

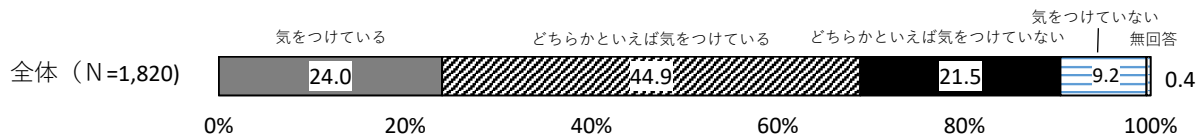
(%)

	N	感謝する食べ物や作ってくれた方に感謝	「いただきます」「ごちそうさま」と言う	食事のマナー（おはしの持ち方、肘をつかないなど）	食事を楽しむ	食べ物を残さない	その他	特にない	無回答	
全体	1820	44.0	60.6	51.8	53.0	73.1	3.4	5.6	0.4	
男性	総数	727	48.6	53.5	40.0	46.6	78.8	2.3	7.0	0.6
	20歳未満	34	44.1	79.4	52.9	47.1	82.4	0.0	2.9	0.0
	20歳～29歳	54	51.9	75.9	48.1	55.6	77.8	3.7	3.7	0.0
	30歳～39歳	101	46.5	54.5	41.6	48.5	74.3	1.0	5.9	1.0
	40歳～49歳	95	48.4	57.9	40.0	42.1	85.3	1.1	3.2	0.0
	50歳～59歳	95	47.4	47.4	35.8	44.2	83.2	4.2	8.4	0.0
	60歳～69歳	176	46.6	47.7	40.9	47.7	77.3	1.1	9.1	0.0
	70歳～79歳	122	53.3	49.2	35.2	45.1	79.5	4.1	10.7	0.8
	80歳以上	48	50.0	41.7	35.4	45.8	70.8	4.2	4.2	4.2
女性	総数	1079	41.0	65.3	60.0	57.3	69.1	4.2	4.7	0.4
	20歳未満	34	32.4	73.5	55.9	52.9	70.6	0.0	5.9	0.0
	20歳～29歳	85	60.0	81.2	70.6	70.6	75.3	7.1	3.5	0.0
	30歳～39歳	169	45.6	75.1	63.9	60.4	65.1	7.1	4.1	0.0
	40歳～49歳	174	39.7	63.2	64.9	56.3	61.5	4.6	6.3	0.0
	50歳～59歳	182	40.7	59.9	57.7	58.2	61.0	4.9	5.5	1.1
	60歳～69歳	204	34.3	57.8	54.4	57.4	75.0	2.9	3.9	0.0
	70歳～79歳	144	38.9	64.6	61.1	52.8	79.2	2.1	3.5	0.7
	80歳以上	87	39.1	62.1	49.4	47.1	72.4	1.1	5.7	1.1

性・年代別にみると、男性のすべての年代、女性の50歳以上では「食べ物を残さない」、女性の39歳以下では「『いただきます』『ごちそうさま』と言う」、女性の40歳～49歳では「食事のマナー（おはしの持ち方、肘をつかないなど）」の割合が最も高くなっています。

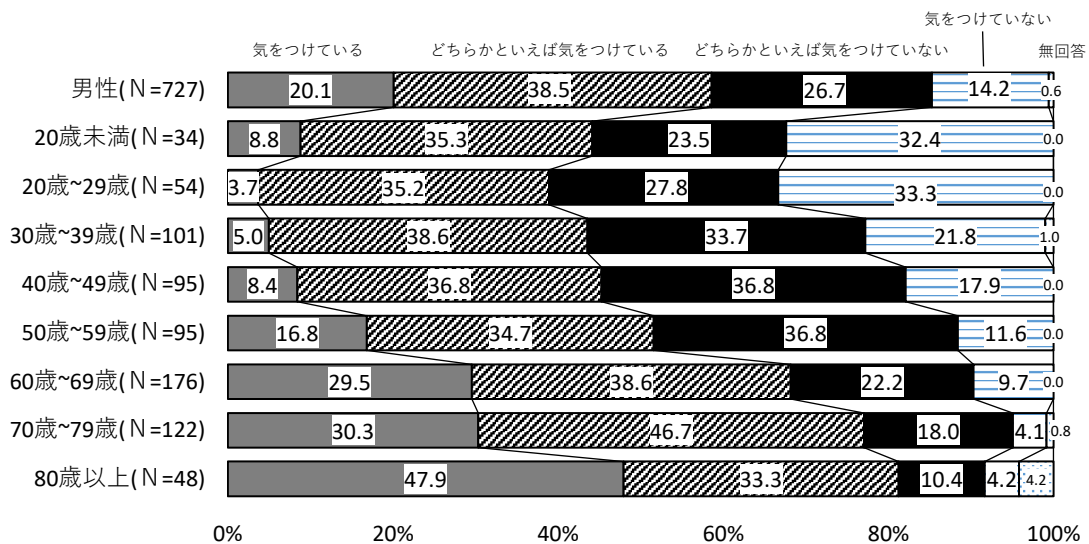
4.食生活について

問12 あなたは塩分をとりすぎないように、気をつけていますか。

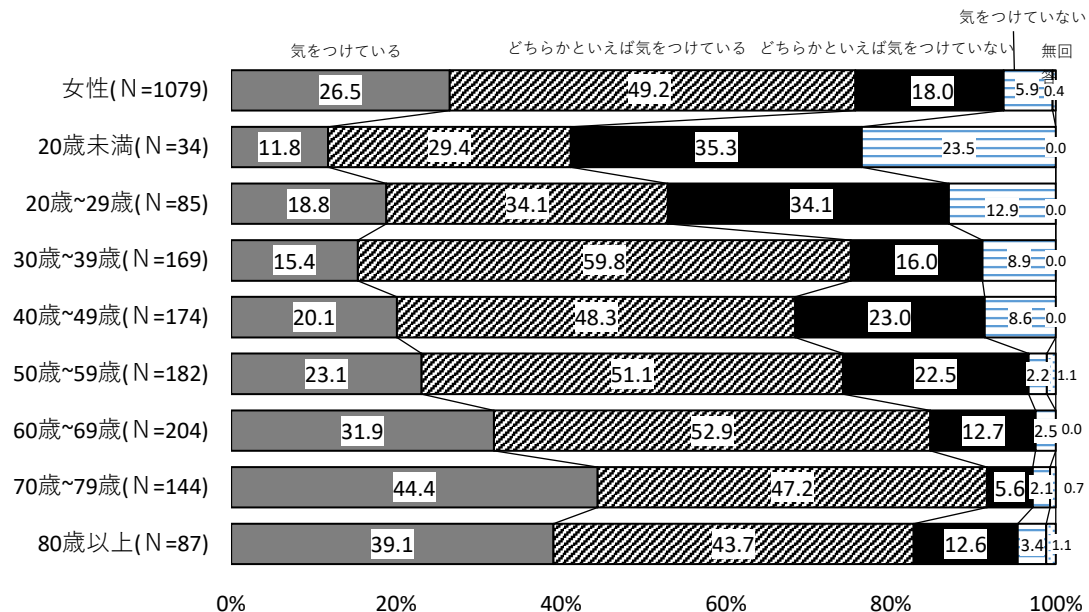


塩分をとりすぎないように『気をつけている』（「気をつけている」と「どちらかといえば気をつけている」の合計）の割合は68.9%となっています。

[男性]

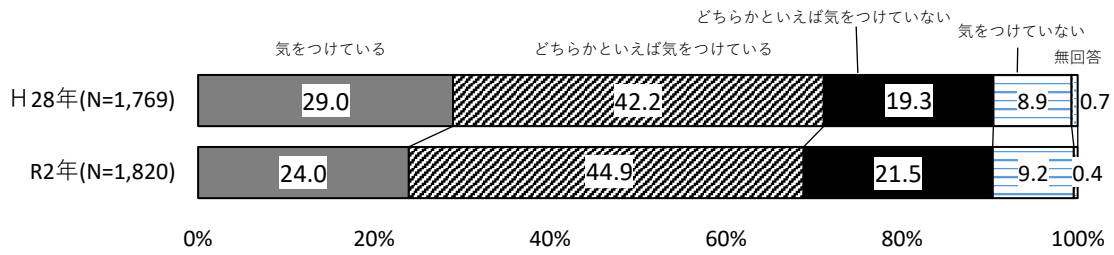


[女性]



性・年代別にみると、『気をつけている』の割合は、男性の80歳以上で81.2%、女性の70歳~79歳で91.6%と最も高く、男性の20歳~29歳で38.9%、女性の20歳未満で41.2%と最も低くなっています。

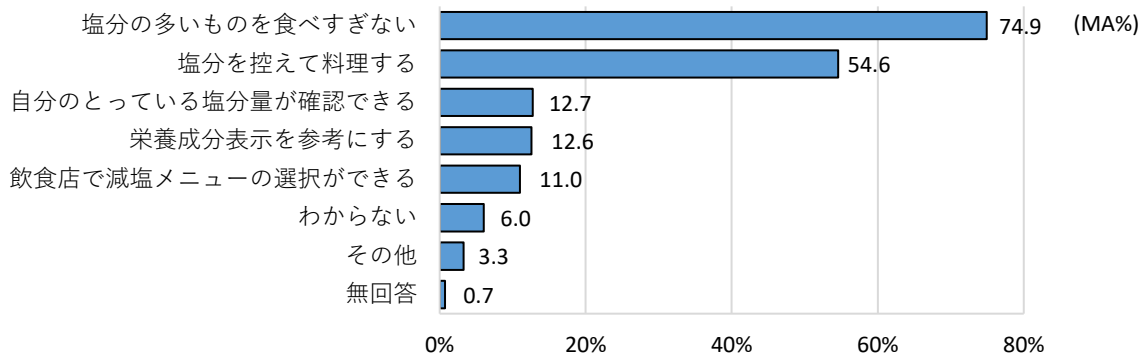
【前回との比較】



前回H28年と比較すると、『気をつけている』の割合が2.3ポイント減少しています。

『気をつけていない』（「どちらかといえば気をつけていない」と「気をつけていない」の合計）の割合が2.5ポイント増加しています。

問13 あなたが塩分をとりすぎないようにするには、どのようなことが必要だと思いますか。



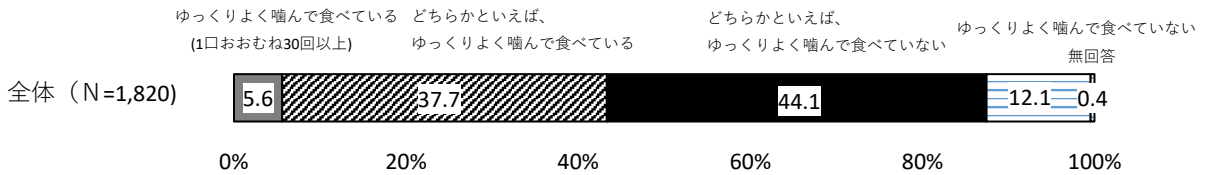
塩分をとりすぎないようにするには、どのようなことが必要だと思うかについて、「塩分の多いものを食べすぎない」割合が74.9%が最も高く、次いで「塩分を控えて料理する」が54.6%、「自分のとっている塩分量が確認できる」が12.7%となっています。

(%)

	N	塩分を控えて料理する	塩分の多いものを食べすぎない	自分のとっている塩分量が確認できる	飲食店で減塩メニューの選択ができる	栄養成分表示を参考にする	その他	わからない	無回答
全体	1820	54.6	74.9	12.7	11.0	12.6	3.3	6.0	0.7
総数	727	34.9	71.7	13.2	11.3	11.6	2.9	10.9	1.0
20歳未満	34	26.5	67.6	17.6	11.8	14.7	2.9	17.6	0.0
20歳～29歳	54	24.1	63.0	16.7	7.4	14.8	0.0	18.5	0.0
30歳～39歳	101	34.7	71.3	24.8	12.9	17.8	1.0	8.9	1.0
40歳～49歳	95	27.4	70.5	17.9	15.8	11.6	2.1	15.8	0.0
50歳～59歳	95	37.9	71.6	13.7	12.6	7.4	4.2	6.3	0.0
60歳～69歳	176	37.5	76.1	9.1	9.7	11.4	4.0	8.5	1.1
70歳～79歳	122	41.0	73.0	5.7	10.7	7.4	3.3	11.5	1.6
80歳以上	48	37.5	66.7	4.2	6.3	10.4	4.2	8.3	4.2
総数	1079	67.8	77.1	12.5	10.8	13.4	3.6	2.9	0.6
20歳未満	34	35.3	76.5	17.6	14.7	17.6	2.9	11.8	0.0
20歳～29歳	85	62.4	80.0	21.2	17.6	21.2	3.5	1.2	0.0
30歳～39歳	169	67.5	72.8	8.3	5.9	10.1	3.0	2.4	1.2
40歳～49歳	174	65.5	77.6	14.9	9.2	9.8	4.0	3.4	0.0
50歳～59歳	182	67.6	76.4	14.8	9.3	13.7	3.3	1.6	1.1
60歳～69歳	204	74.0	83.3	10.8	11.3	14.7	3.4	2.5	0.0
70歳～79歳	144	79.2	74.3	9.7	16.7	13.9	5.6	2.8	0.7
80歳以上	87	58.6	73.6	9.2	6.9	13.8	2.3	4.6	1.1

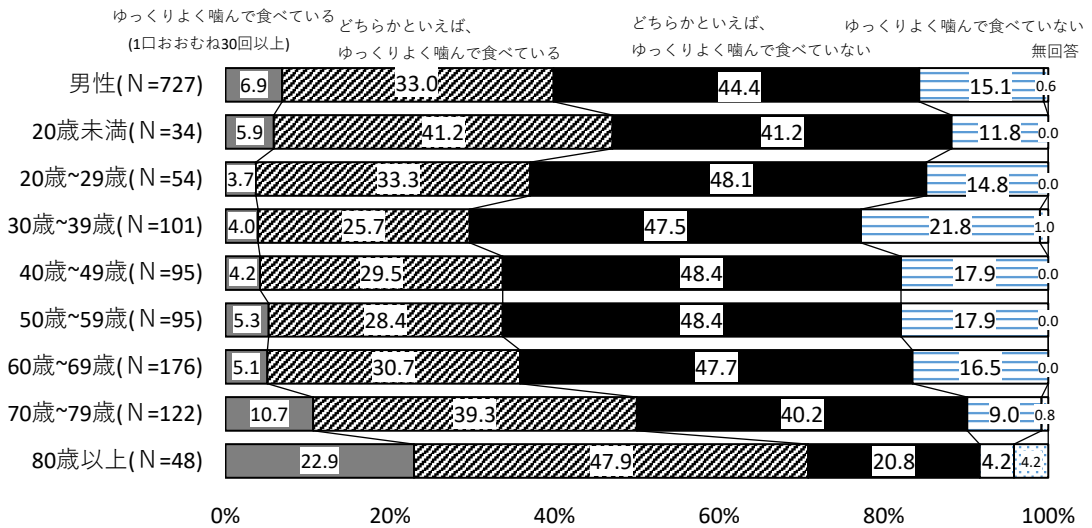
性・年代別にみると、女性の70歳～79歳を除き、「塩分の多いものを食べすぎない」の割合が最も高く、次いで「塩分を控えて料理する」となっています。「わからない」の割合は、男性の29歳以下、40歳～49歳、70歳～79歳、女性の20歳未満で10%を超え、他の年代に比べて高くなっています。

問14 あなたはふだんゆっくりよく噛んで食べていますか。

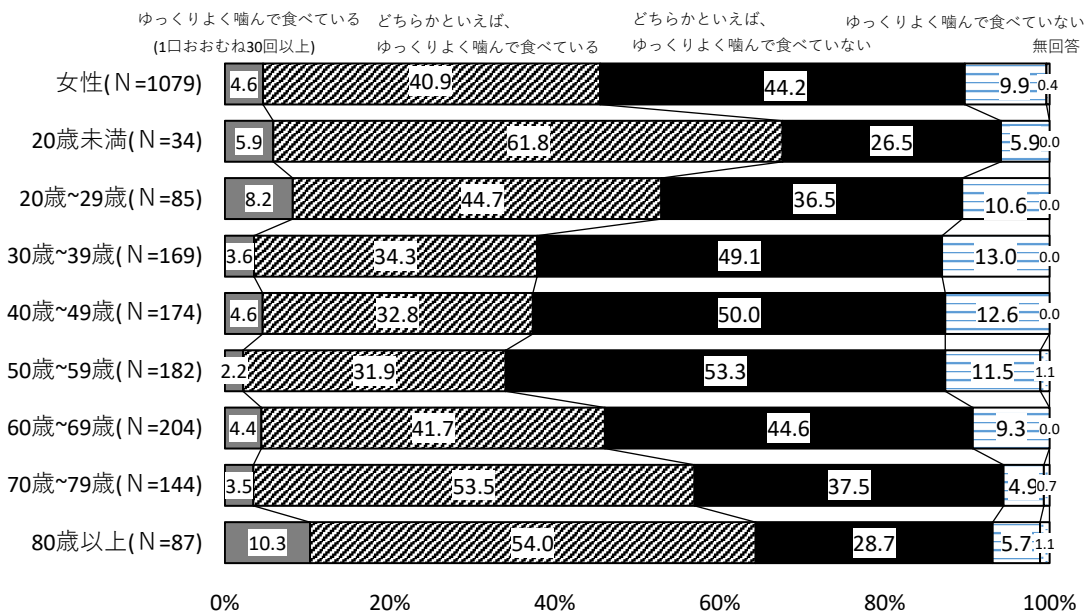


ふだんゆっくりよく噛んで食べているかについて、『ゆっくりよく噛んで食べている』（「ゆっくりよく噛んで食べている（1口おおむね30回以上）」と「どちらかといえば、ゆっくりよく噛んで食べている」の合計）の割合が43.3%となっています。

[男性]

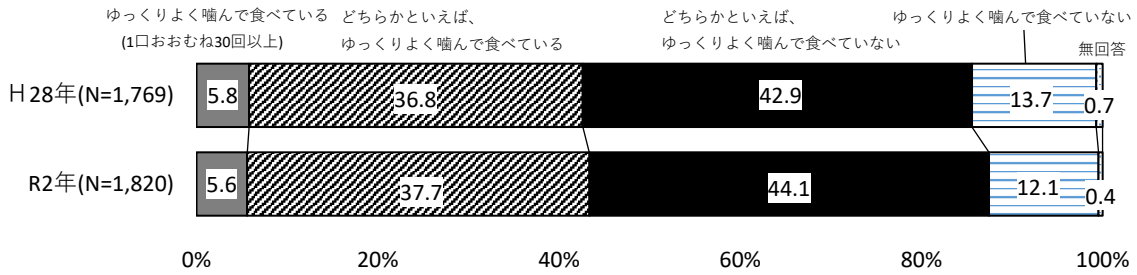


[女性]



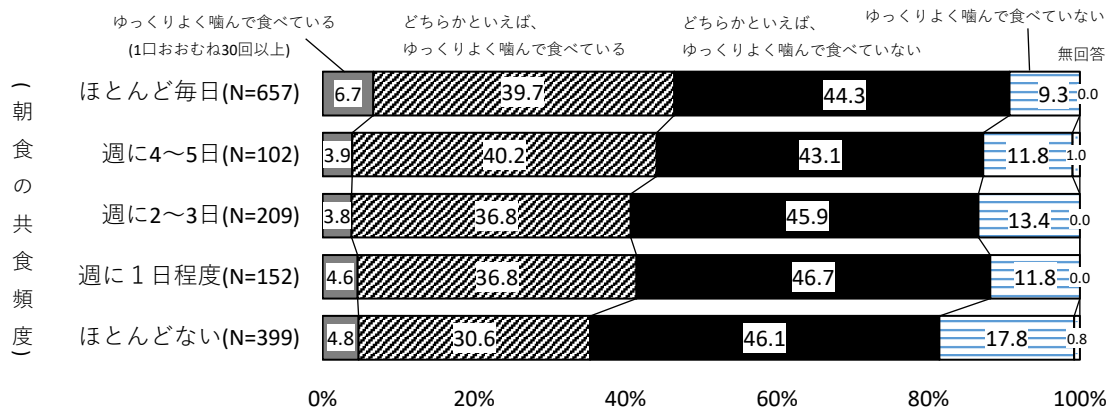
性・年代別にみると、男女ともに30歳~59歳で『ゆっくりよく噛んで食べている』の割合が約30%と他の年代に比べて低くなっています。

【前回との比較】



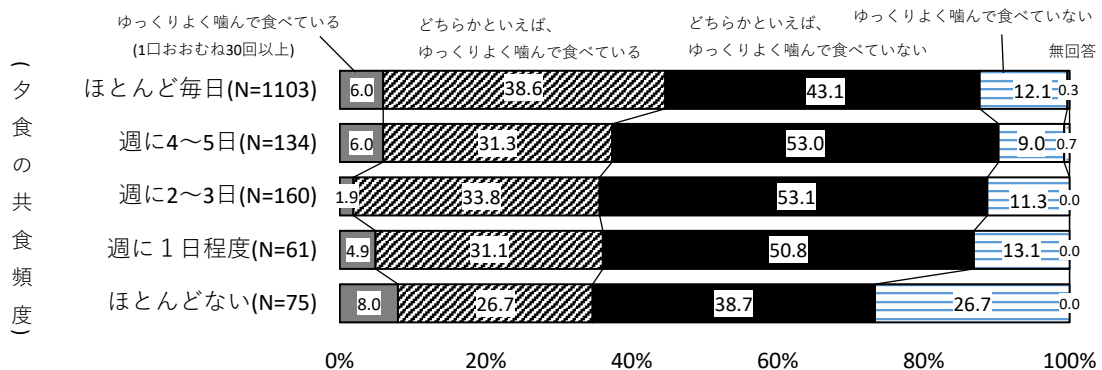
前回H28年と比較すると、変化が少ない結果でした。

【朝食の共食頻度別 咀嚼の状況】



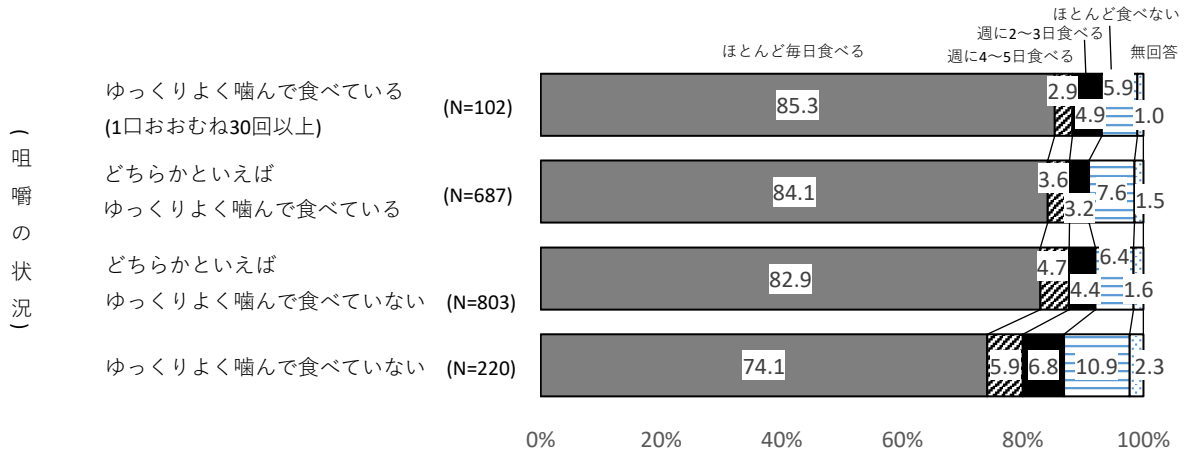
朝食の共食頻度別にみると、『ゆっくりよく噛んで食べている』の割合は、朝食の共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人で46.4%と最も高く、ほとんどない区分（頻度別）の人では35.4%と低くなっています。

【夕食の共食頻度別 咀嚼の状況】



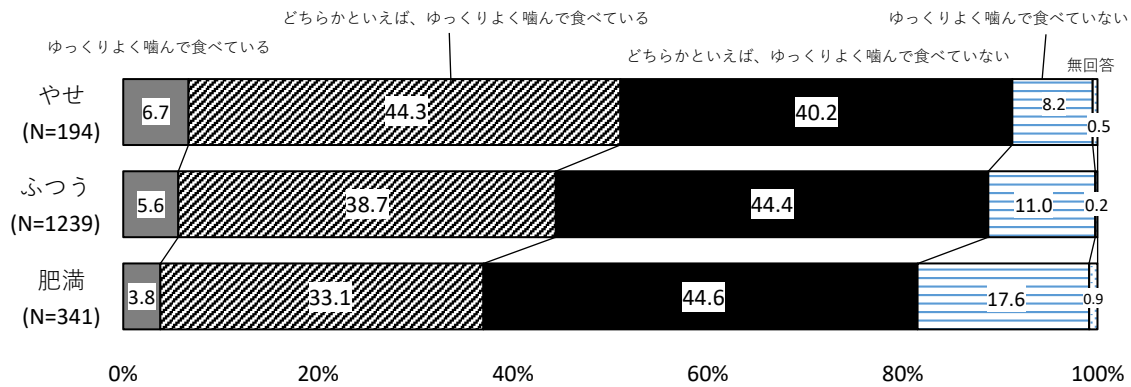
夕食の共食頻度別にみると、『ゆっくりよく噛んで食べている』の割合は、夕食の共食がほとんど毎日の区分（頻度別）の人で44.6%と最も高く、ほとんどない区分（頻度別）では34.7%と低くなっています。

[咀嚼の状況別 朝食の摂取状況]



咀嚼の状況別に朝食の摂取状況をみると、ゆっくりよく噛んで食べている区分（状況別）の人は「ほとんど毎日食べる」割合が85.3%と高くなっています。

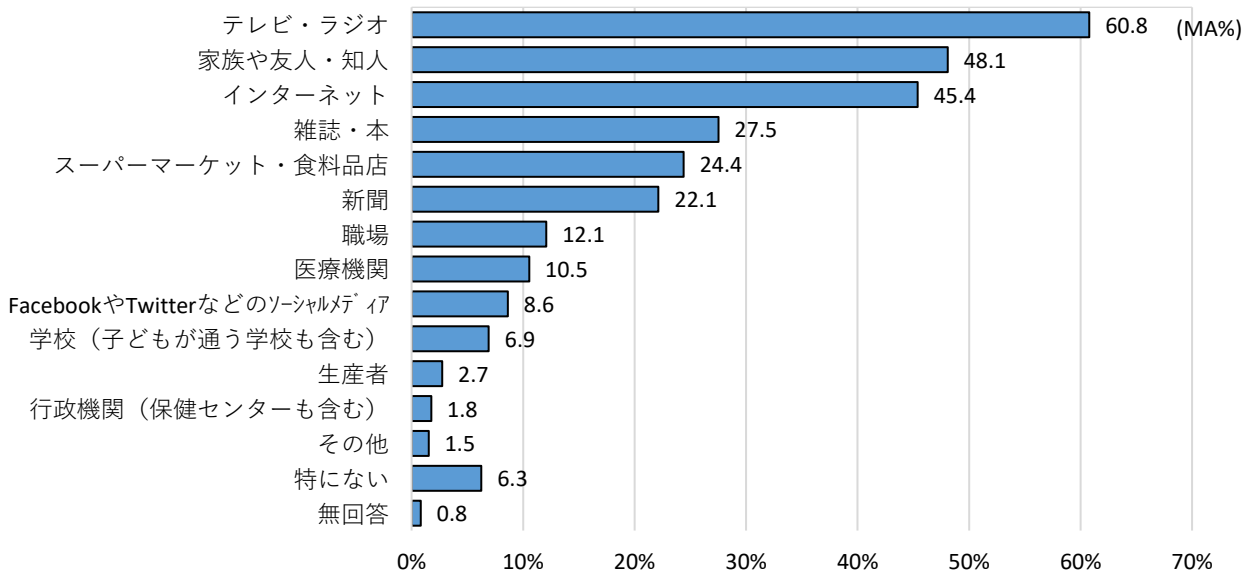
[BMIによる体格分類別 咀嚼の状況別]



BMIによる体格分類別にみると、『ゆっくりよく噛んで食べている』割合が「やせ」で51.0%と高くなっています。

肥満は「ゆっくりよく噛んで食べていない」割合が17.6%と高くなっています。

問15 あなたは栄養や食品に関する情報をどこから得ていますか。



栄養や食品に関する情報をどこから得ているかについて、「テレビ・ラジオ」の割合が60.8%と最も高く、次いで「家族や友人・知人」が48.1%、「インターネット」が45.4%となっています。

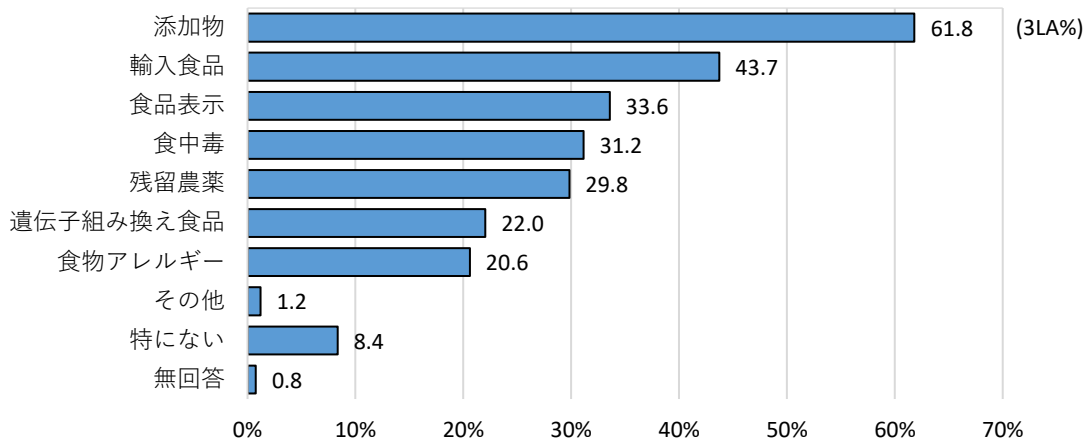
(%)

	N	家族や友人・知人	学校（子どもが通う学校も含む）	職場	医療機関	行政機関（保健センターも含む）	生産者	テレビ・ラジオ	新聞	雑誌・本	インターネット	FacebookやTwitterなどのソーシャルメディア	スーパーマーケット・食料品店	その他	特にない	無回答	
全体	1820	48.1	6.9	12.1	10.5	1.8	2.7	60.8	22.1	27.5	45.4	8.6	24.4	1.5	6.3	0.8	
男性	総数	727	47.3	5.1	10.6	12.4	1.2	2.9	52.1	21.0	18.0	41.4	4.5	20.6	1.1	9.8	1.4
	20歳未満	34	67.6	50.0	2.9	0.0	2.9	8.8	29.4	0.0	2.9	38.2	14.7	11.8	0.0	11.8	0.0
	20歳～29歳	54	59.3	20.4	13.0	3.7	1.9	1.9	35.2	3.7	13.0	64.8	11.1	14.8	0.0	16.7	0.0
	30歳～39歳	101	44.6	2.0	14.9	5.9	2.0	1.0	44.6	5.0	18.8	58.4	6.9	19.8	0.0	8.9	2.0
	40歳～49歳	95	51.6	2.1	16.8	10.5	0.0	1.1	44.2	11.6	12.6	48.4	4.2	23.2	2.1	15.8	0.0
	50歳～59歳	95	43.2	2.1	11.6	12.6	0.0	6.3	50.5	23.2	21.1	55.8	5.3	36.8	0.0	7.4	0.0
	60歳～69歳	176	40.9	0.6	10.8	13.6	0.0	2.8	64.8	23.9	19.9	35.8	2.3	20.5	1.1	8.0	1.7
	70歳～79歳	122	44.3	1.6	4.9	19.7	3.3	2.5	59.8	38.5	23.8	23.8	1.6	15.6	2.5	9.0	2.5
80歳以上	48	56.3	0.0	4.2	22.9	2.1	2.1	58.3	47.9	16.7	6.3	0.0	12.5	2.1	2.1	4.2	
女性	総数	1079	48.6	8.2	12.9	9.5	2.1	2.6	66.8	23.1	34.1	48.2	11.5	27.0	1.9	3.9	0.5
	20歳未満	34	73.5	64.7	2.9	0.0	0.0	0.0	47.1	5.9	11.8	41.2	26.5	11.8	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	85	54.1	15.3	17.6	7.1	2.4	2.4	44.7	3.5	20.0	57.6	27.1	12.9	1.2	5.9	1.2
	30歳～39歳	169	47.3	11.8	20.7	7.1	1.2	1.8	54.4	1.8	27.8	67.5	24.9	32.0	1.2	5.3	0.6
	40歳～49歳	174	38.5	13.8	14.4	6.9	1.1	2.9	55.7	8.6	35.1	69.0	13.2	28.2	4.0	5.2	0.6
	50歳～59歳	182	45.6	2.7	17.6	7.1	2.2	3.3	74.7	26.9	40.7	67.0	8.8	34.6	2.2	2.2	0.0
	60歳～69歳	204	51.0	2.0	10.8	8.8	3.4	3.9	78.9	36.8	39.2	39.7	3.9	32.4	1.0	3.9	0.5
	70歳～79歳	144	53.5	0.0	6.3	17.4	2.8	2.8	81.3	45.1	42.4	11.8	0.7	21.5	2.1	3.5	0.7
80歳以上	87	48.3	0.0	0.0	18.4	2.3	0.0	73.6	42.5	27.6	3.4	2.3	14.9	1.1	2.3	0.0	

性・年代別にみると、男性の60歳以上、女性の50歳以上では「テレビ・ラジオ」、男性の20歳～39歳、50歳～59歳、女性の20歳～49歳では「インターネット」、男性の20歳未満、40歳～49歳、女性の20歳未満では「家族や友人・知人」の割合が最も高くなっています。

「特にない」の割合は、男性の29歳以下、40歳～49歳で他の年代に比べて高くなっています。

問16 あなたは食の安全について、どのようなテーマの知識や情報を得たいですか。



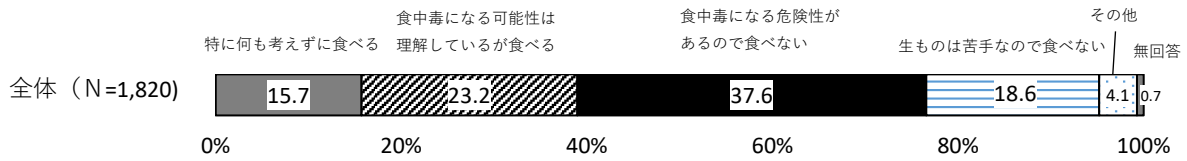
食の安全についてどのようなテーマの知識や情報を得たいかについて、「添加物」の割合が61.8%と最も高く、次いで「輸入食品」が43.7%、「食品表示」が33.6%となっています。

(%)

	N	輸入食品	添加物	食中毒	残留農薬	遺伝子組み換え食品	食物アレルギー	食品表示	その他	特にない	無回答
全体	1820	43.7	61.8	31.2	29.8	22.0	20.6	33.6	1.2	8.4	0.8
男性	727	43.1	52.7	31.4	24.1	19.9	20.4	30.9	1.5	12.8	1.4
20歳未満	34	35.3	41.2	44.1	11.8	14.7	35.3	23.5	0.0	17.6	0.0
20歳～29歳	54	18.5	51.9	42.6	20.4	22.2	24.1	22.2	0.0	16.7	0.0
30歳～39歳	101	27.7	51.5	34.7	23.8	19.8	27.7	19.8	1.0	15.8	2.0
40歳～49歳	95	46.3	44.2	33.7	24.2	20.0	27.4	18.9	1.1	13.7	0.0
50歳～59歳	95	52.6	52.6	28.4	27.4	31.6	26.3	18.9	1.1	9.5	0.0
60歳～69歳	176	46.6	59.1	25.0	26.1	18.8	15.3	42.0	2.3	11.9	1.7
70歳～79歳	122	51.6	56.6	23.0	25.4	16.4	8.2	47.5	3.3	10.7	1.6
80歳以上	48	47.9	45.8	50.0	20.8	12.5	14.6	33.3	0.0	12.5	6.3
女性	1079	44.5	67.8	31.0	33.8	23.5	20.9	35.5	1.0	5.3	0.3
20歳未満	34	38.2	52.9	44.1	14.7	17.6	20.6	26.5	2.9	5.9	0.0
20歳～29歳	85	27.1	58.8	47.1	23.5	18.8	34.1	27.1	1.2	9.4	1.2
30歳～39歳	169	33.7	69.8	38.5	26.0	21.9	29.6	23.7	0.6	7.1	0.6
40歳～49歳	174	38.5	67.2	33.3	34.5	29.9	25.9	28.7	0.0	3.4	0.6
50歳～59歳	182	56.6	70.9	27.5	44.0	27.5	19.2	28.6	1.1	2.2	0.0
60歳～69歳	204	54.4	73.5	23.5	36.8	25.5	13.7	48.0	1.0	3.4	0.0
70歳～79歳	144	51.4	69.4	20.1	40.3	21.5	11.8	51.4	0.0	6.3	0.0
80歳以上	87	36.8	57.5	33.3	26.4	11.5	16.1	42.5	4.6	10.3	0.0

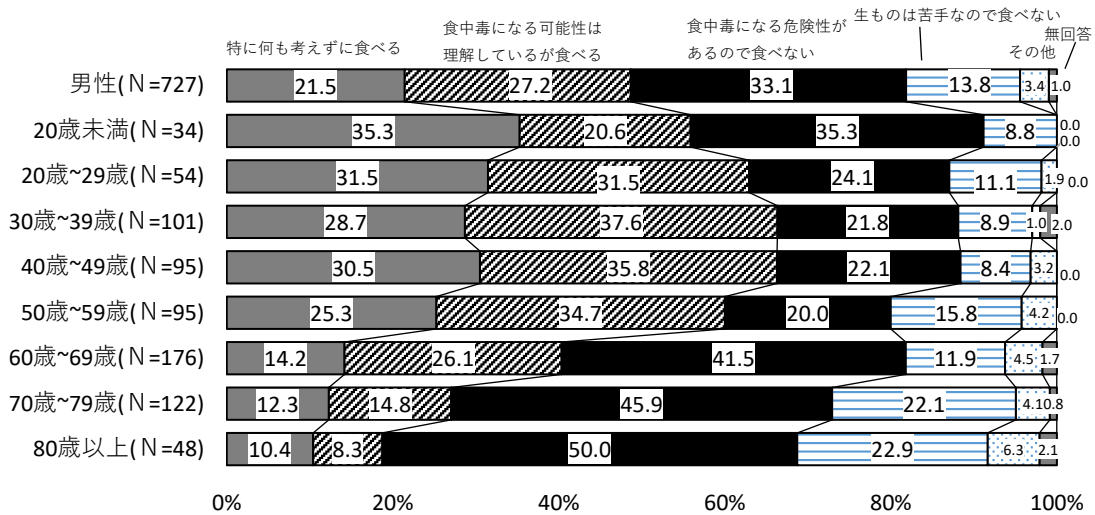
性・年代別にみると、男性の20歳未満、40歳～49歳と80歳以上を除き、「添加物」の割合が最も高くなっています。

問17 あなたは鶏肉の刺身やタタキなど、十分に加熱していない鶏肉のメニューが出されたとき、自分の行動に一番近いものはどれですか。

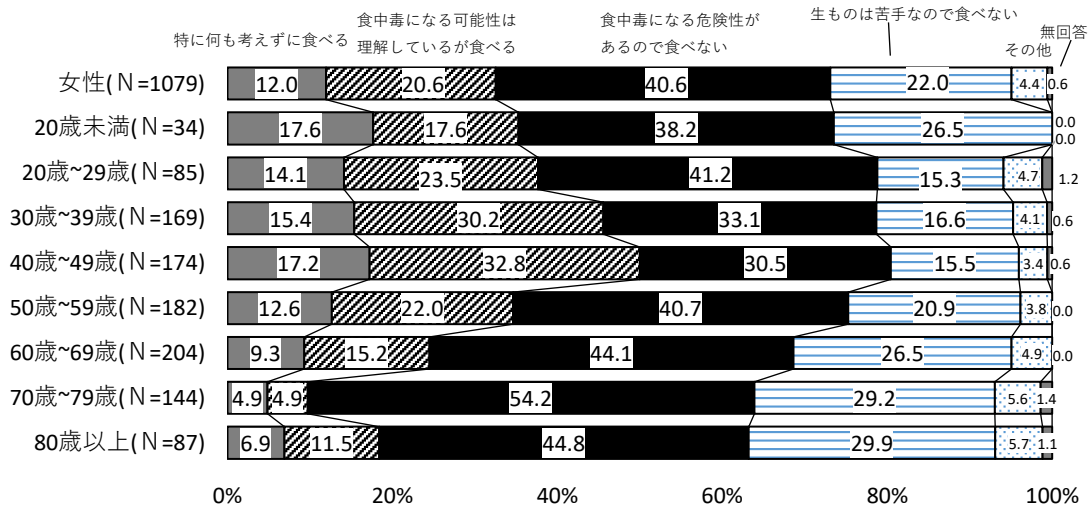


鶏肉の刺身やタタキなど、十分に加熱していない鶏肉のメニューが出されたとき、自分の行動に一番近いものは「食中毒になる危険性があるので食べない」が37.6%と最も高く、次いで「食中毒になる可能性は理解しているが食べる」が23.2%となっています。

[男性]

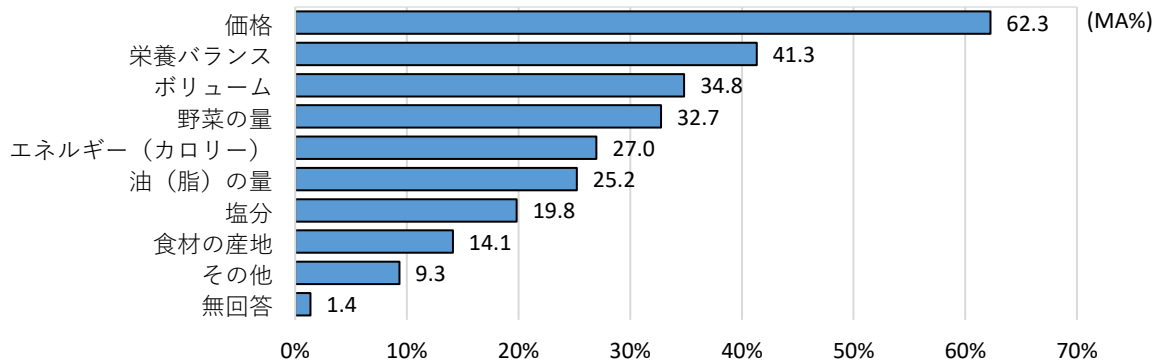


[女性]



性・年代別にみると、男性の20歳~59歳、女性の40歳~49歳では「食中毒になる可能性は理解しているが食べる」の割合が最も高くなっています。男性の20歳未満、60歳以上、女性の39歳以下、50歳以上では「食中毒になる危険性があるので食べない」の割合が最も高くなっています。「特になにも考えずに食べる」の割合は男性のほうが高くなっています。

問18 あなたは外食のメニューを選ぶ際に、気をつけていることはありますか。



外食のメニューを選ぶ際に、気をつけていることについて、「価格」の割合が62.3%と最も高く、次いで「栄養バランス」が41.3%、「ボリューム」が34.8%となっています。

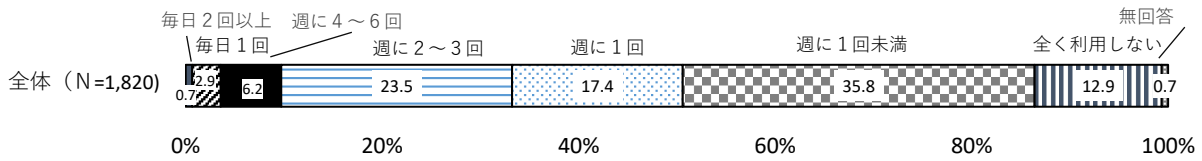
(%)

	N	栄養 バラン ス	塩分	エ ネ ル ギ ー （ カ ロ リ ー ）	油 （ 脂 ） の 量	野 菜 の 量	食 材 の 産 地	価 格	ボ リ ュ ー ム	そ の 他	無 回 答	
全体	1820	41.3	19.8	27.0	25.2	32.7	14.1	62.3	34.8	9.3	1.4	
男性	総数	727	33.1	18.0	20.6	24.8	23.1	12.0	65.1	42.5	8.0	1.7
	20歳未満	34	20.6	8.8	20.6	2.9	11.8	11.8	70.6	61.8	0.0	0.0
	20歳～29歳	54	24.1	7.4	18.5	18.5	9.3	11.1	77.8	57.4	5.6	0.0
	30歳～39歳	101	24.8	5.0	20.8	17.8	20.8	6.9	72.3	52.5	5.9	3.0
	40歳～49歳	95	21.1	7.4	27.4	12.6	16.8	8.4	69.5	55.8	8.4	0.0
	50歳～59歳	95	33.7	20.0	24.2	23.2	24.2	9.5	74.7	46.3	6.3	0.0
	60歳～69歳	176	41.5	17.6	18.8	33.0	30.1	10.8	62.5	38.6	9.1	2.3
	70歳～79歳	122	36.9	32.8	14.8	36.9	25.4	21.3	48.4	26.2	12.3	2.5
	80歳以上	48	54.2	43.8	25.0	27.1	29.2	14.6	56.3	12.5	8.3	4.2
女性	総数	1079	46.7	21.1	31.1	25.7	39.3	15.8	60.2	29.4	10.3	1.2
	20歳未満	34	35.3	8.8	35.3	11.8	26.5	11.8	64.7	47.1	11.8	0.0
	20歳～29歳	85	34.1	10.6	28.2	12.9	35.3	5.9	70.6	47.1	12.9	1.2
	30歳～39歳	169	32.0	8.3	29.0	10.7	29.0	12.4	69.8	33.7	8.3	1.8
	40歳～49歳	174	36.8	14.4	28.7	17.8	35.1	13.2	67.8	33.3	13.8	1.1
	50歳～59歳	182	54.9	14.3	37.9	23.6	42.9	14.3	61.0	21.4	12.1	0.0
	60歳～69歳	204	56.9	26.5	32.8	36.3	48.0	20.1	58.3	28.4	9.3	1.0
	70歳～79歳	144	60.4	43.1	34.7	46.5	42.4	21.5	47.9	17.4	7.6	2.1
	80歳以上	87	48.3	40.2	17.2	33.3	43.7	21.8	37.9	27.6	6.9	2.3

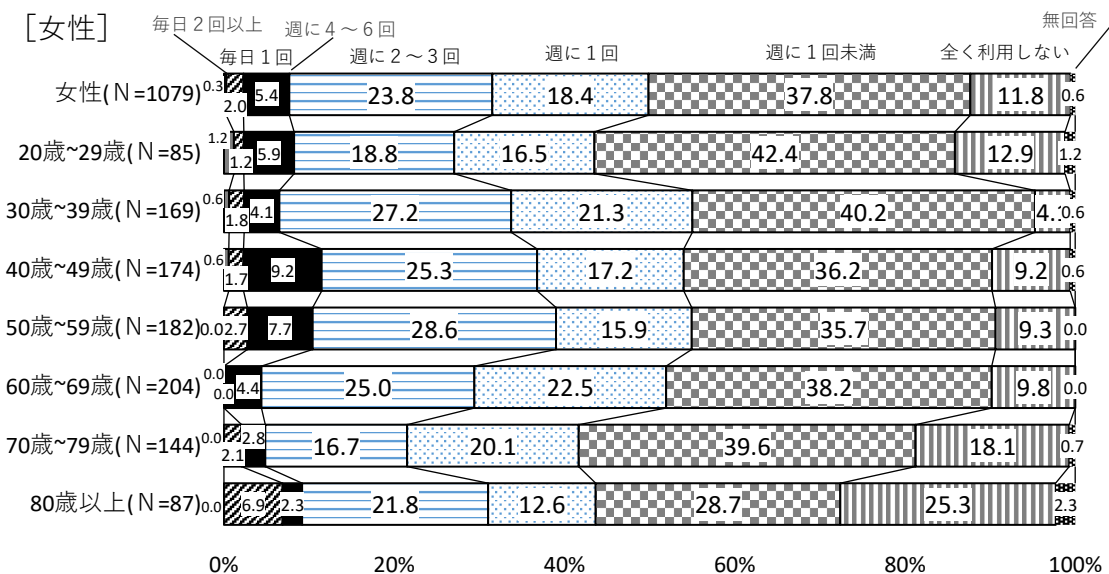
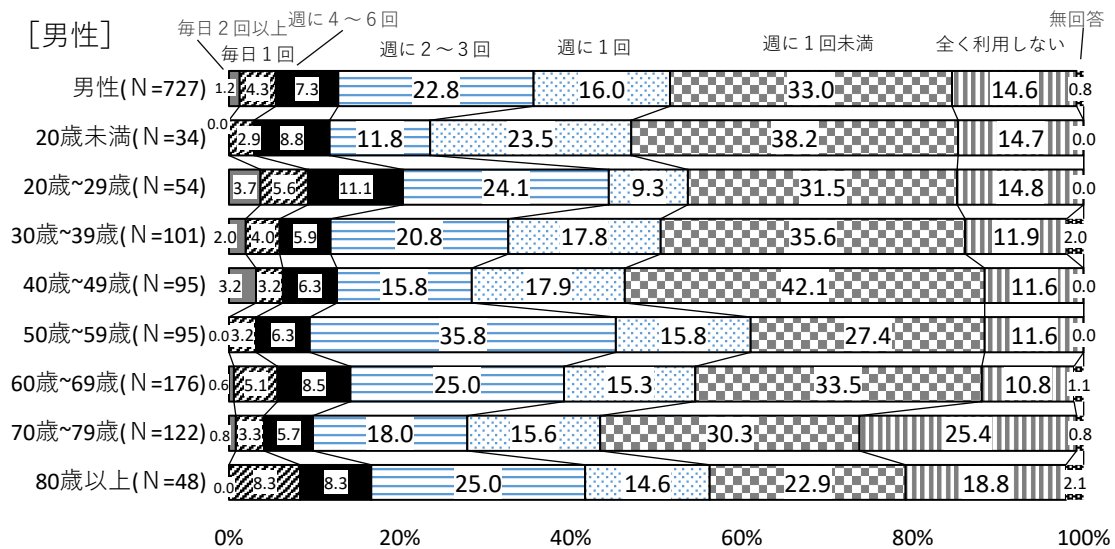
性・年代別にみると、男性のすべての年代、女性の69歳以下では「価格」、女性の70歳以上では「栄養バランス」の割合が最も高くなっています。

問19 あなたはスーパー等でお弁当や総菜を購入したり、外食の持ち帰り、配達を利用するのはどのくらいですか。（1品のみの利用の場合も含まれます）

※以後、スーパー等でお弁当や総菜を購入したり、外食の持ち帰り、配達を利用することを「中食」と表記

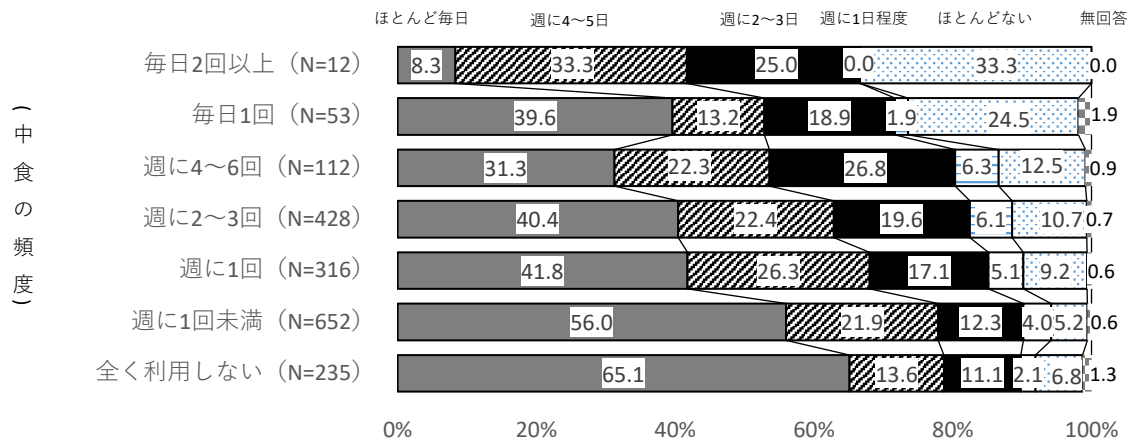


中食の頻度は「週に1回未満」が35.8%と最も高く、次いで「週に2~3回」が23.5%となっています。



性・年代別にみると、男性の50歳~59歳と80歳以上では「週に2~3回」が高く、それ以外の年代では「週に1回未満」の割合が最も高くなっています。女性のすべての年代では「週に1回未満」の割合が最も高くなっています。

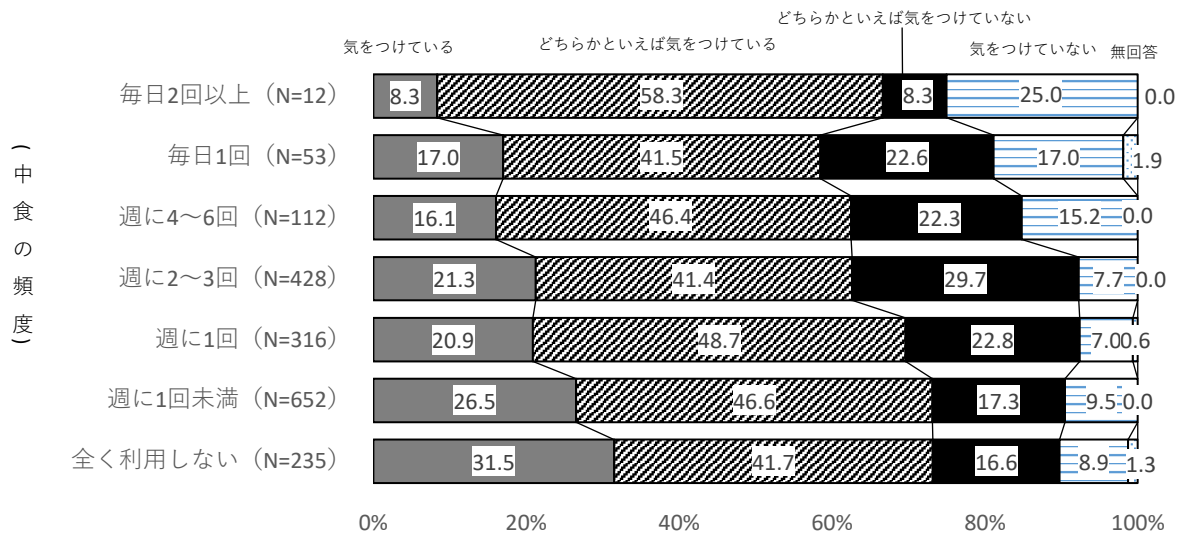
[中食の頻度別 主食・主菜・副菜を1日2回以上そろえて食べる頻度]



中食の頻度別にみると、毎日2回以上の区分では、「ほとんどない」の割合が高くなっています。

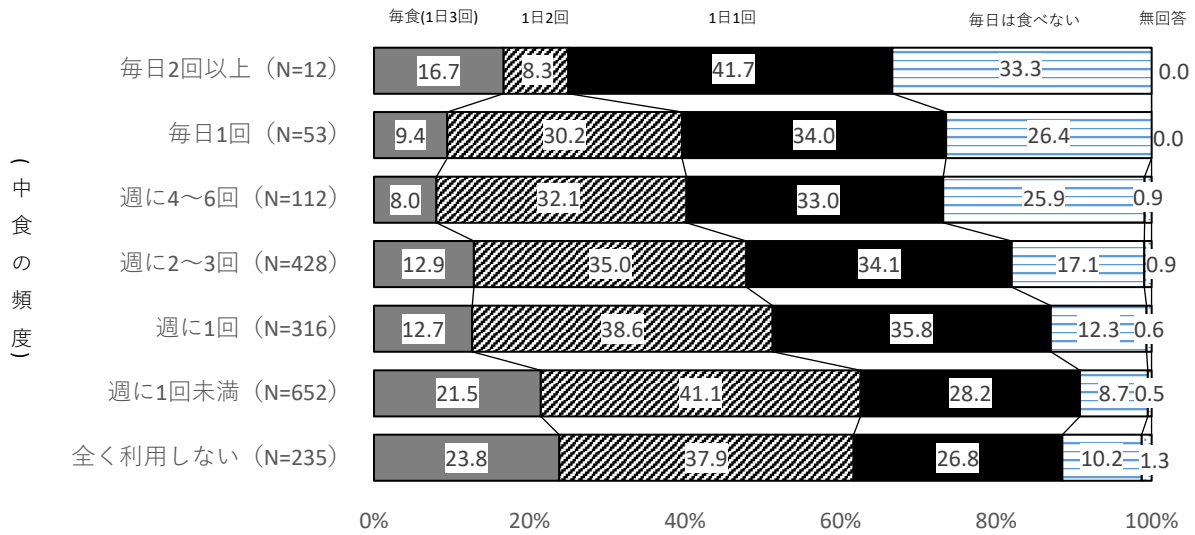
全く利用しない区分は「ほとんど毎日」が65.1%と最も高くなっています。

[中食の頻度別 塩分の関心度別]



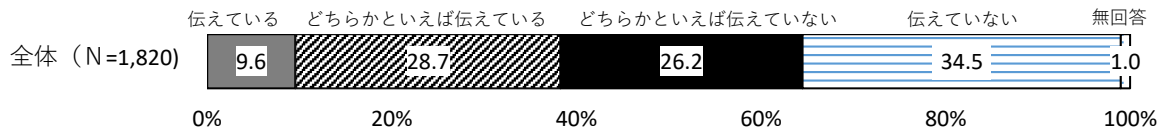
中食の頻度別にみると、すべての区分で「どちらかといえば気をつけている」の割合が高くなっています。全く利用しない人では、「気をつけている」の割合が31.5%と高くなっています。

[中食の頻度別 野菜の摂取頻度]

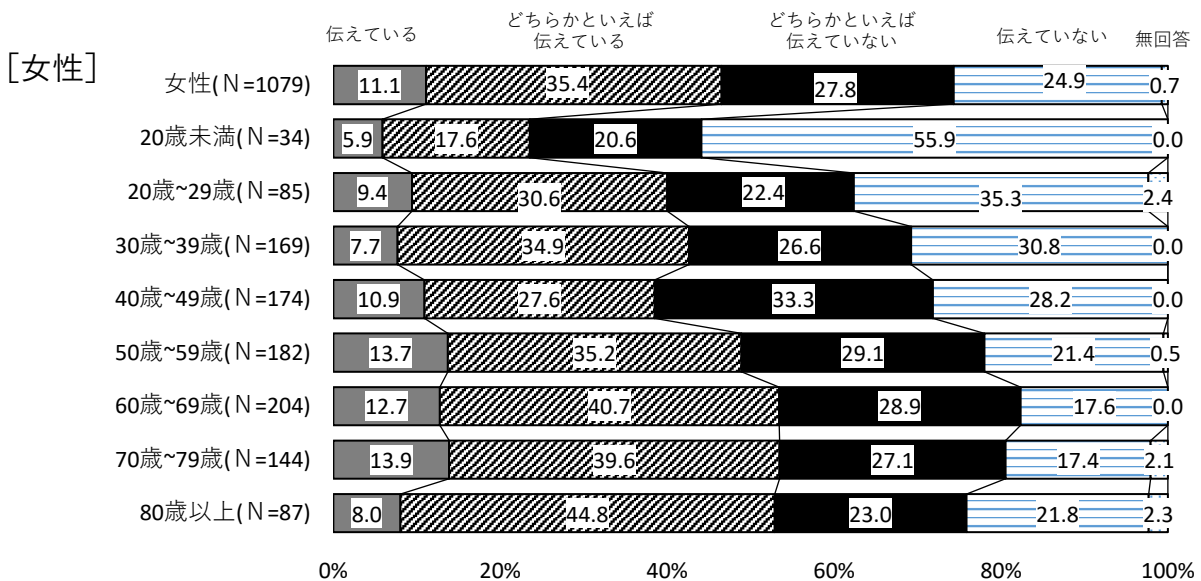
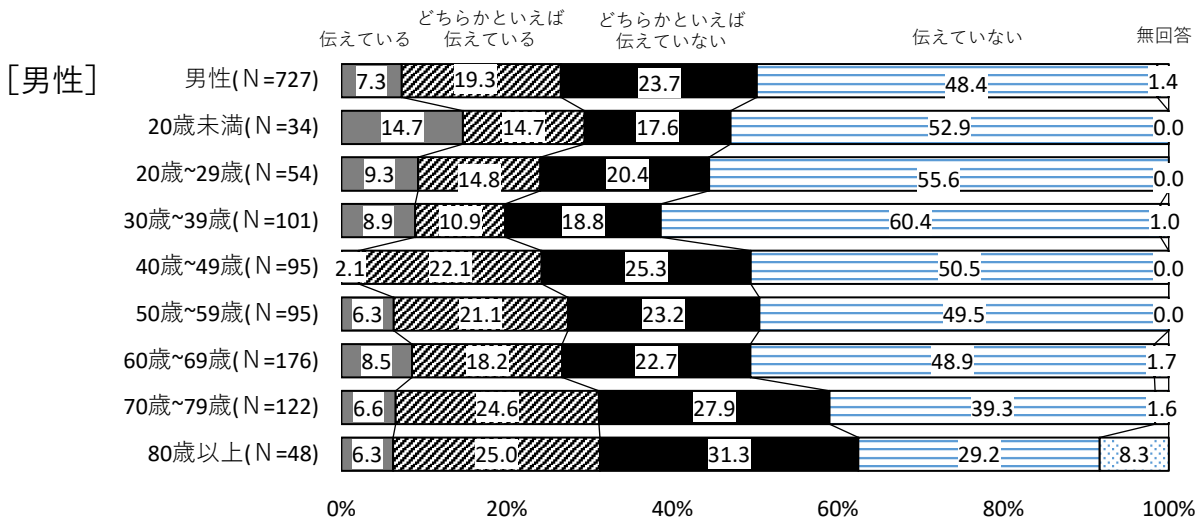


中食の頻度別にみると、全く利用しない区分（頻度別）の人では、「毎食（1日3回）」の割合が最も高く23.8%となっています。

問20 あなたは地域や家庭で受け継がれてきた料理や味等を伝えていますか。

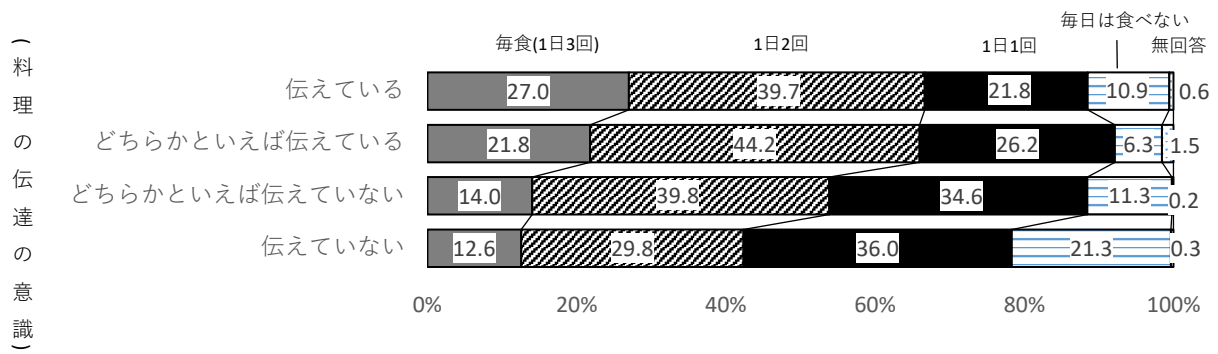


地域や家庭で受け継がれてきた料理や味等を伝えているかについて、『伝えている』（「伝えている」と「どちらかといえば伝えている」の合計）の割合が38.3%となっています。



性・年代別にみると、20歳以上で男性より女性のほうが『伝えている』の割合が高く、女性の60歳以上で50%を超えています。

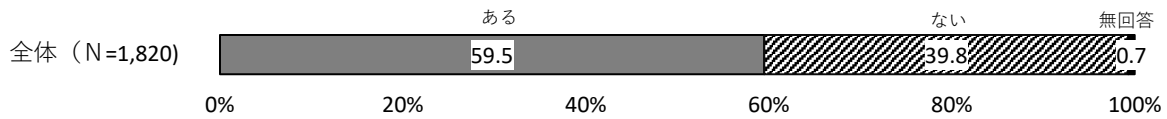
[地域や家庭で受け継がれてきた料理の伝達への意識別 野菜の摂取状況]



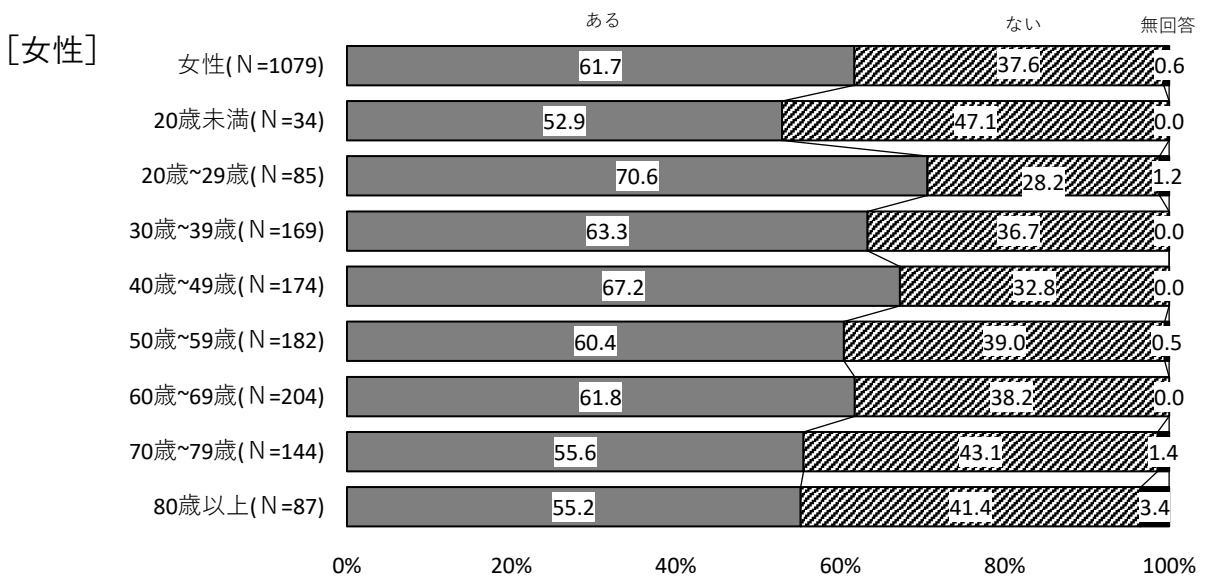
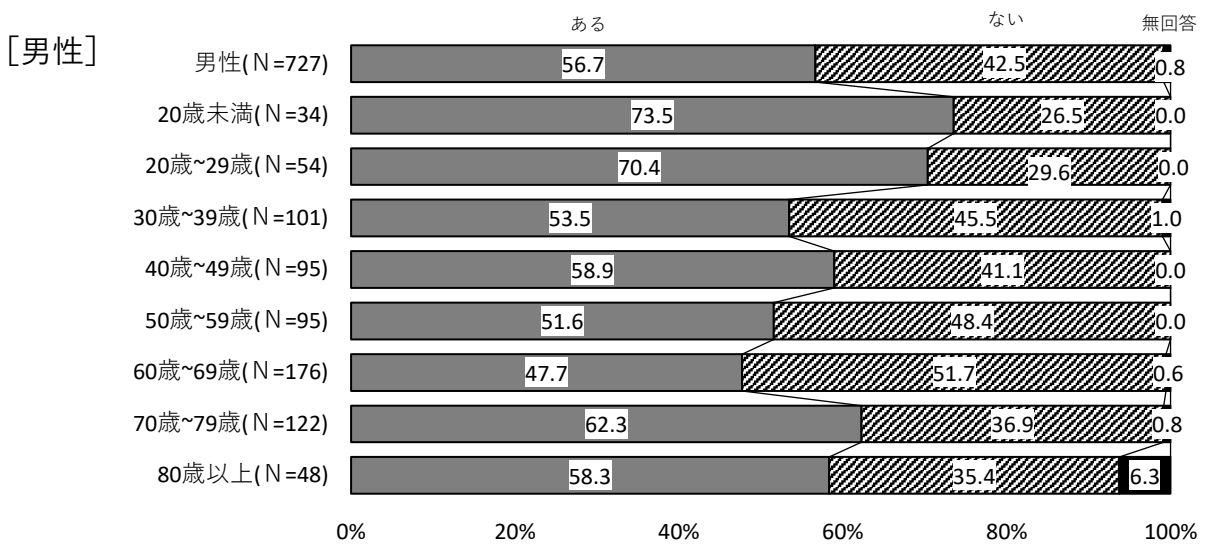
地域や家庭で受け継がれてきた料理や味等への意識別に野菜の摂取状況をみると、伝えている区分（意識別）の人は、「毎食（1日3回）」の割合が27.0%と高くなっています。

伝えていない区分（意識別）の人は「毎日は食べない」の割合が21.3%と高くなっています。

問2 1 あなた自身、またはご家族の方が田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫等の農業に関する体験をしたことがありますか。

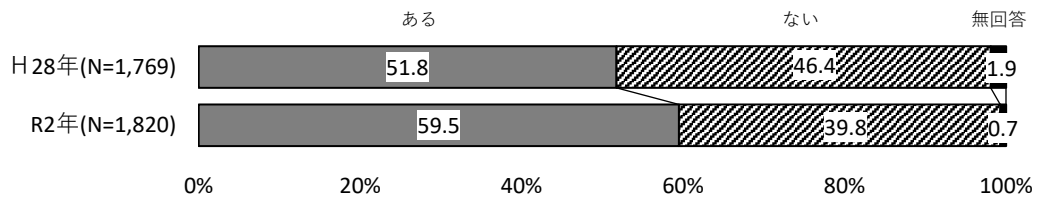


あなた自身、またはご家族の方が田植え（種まき）、稲刈り、野菜の収穫等の農業に関する体験をしたことがあるかについて、「ある」の割合は59.5%となっています。



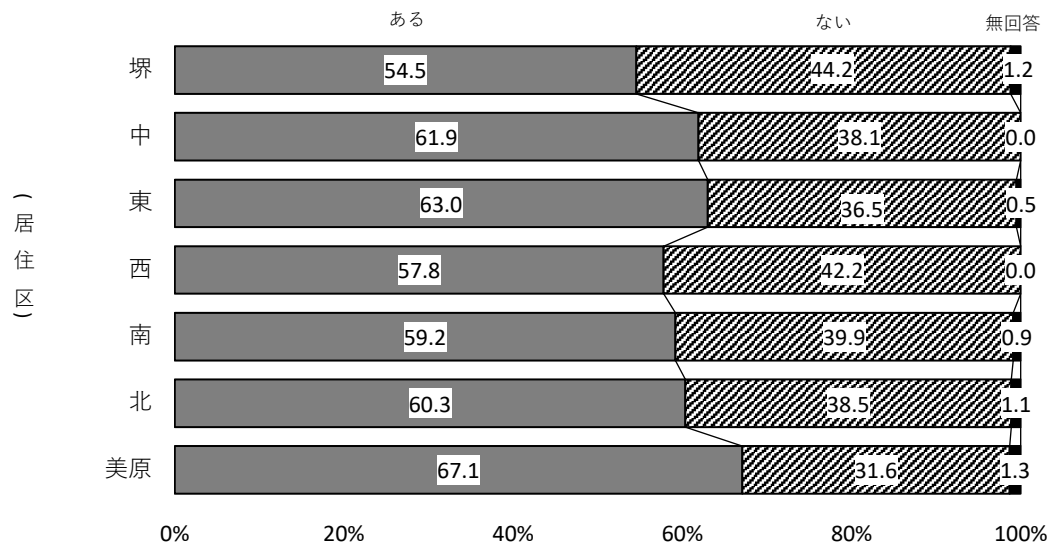
性・年代別にみると、「ある」の割合は、男性の29歳以下、女性の20歳~29歳で70%を超え、最も高くなっています。

【前回との比較】



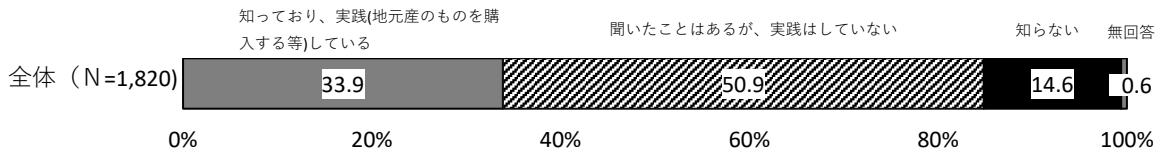
前回H28年と比較すると、「ある」の割合は7.7ポイント増加し、「ない」の割合は6.6ポイント減少しています。

[居住区別 農業体験の有無]



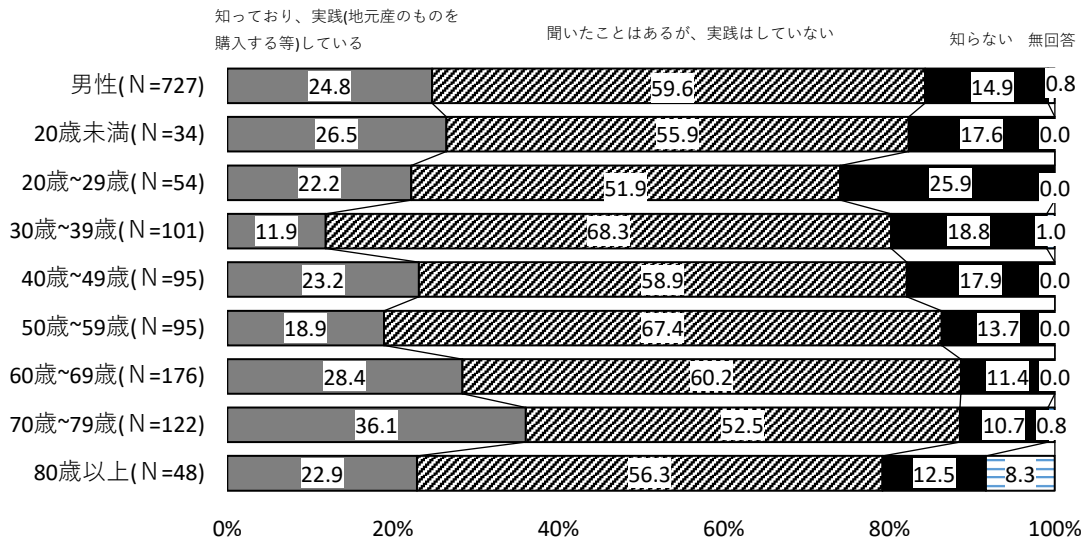
居住区別にみると、「ある」の割合は美原区で67.1%と最も高く、次いで、東区で63.0%、中区で61.9%、北区で60.3%、南区で59.2%、西区で57.8%、堺区で54.5%となっています。

問22 あなたは地域で生産されたものをできるだけその地域で消費する「地産地消」の考えを知っていますか。

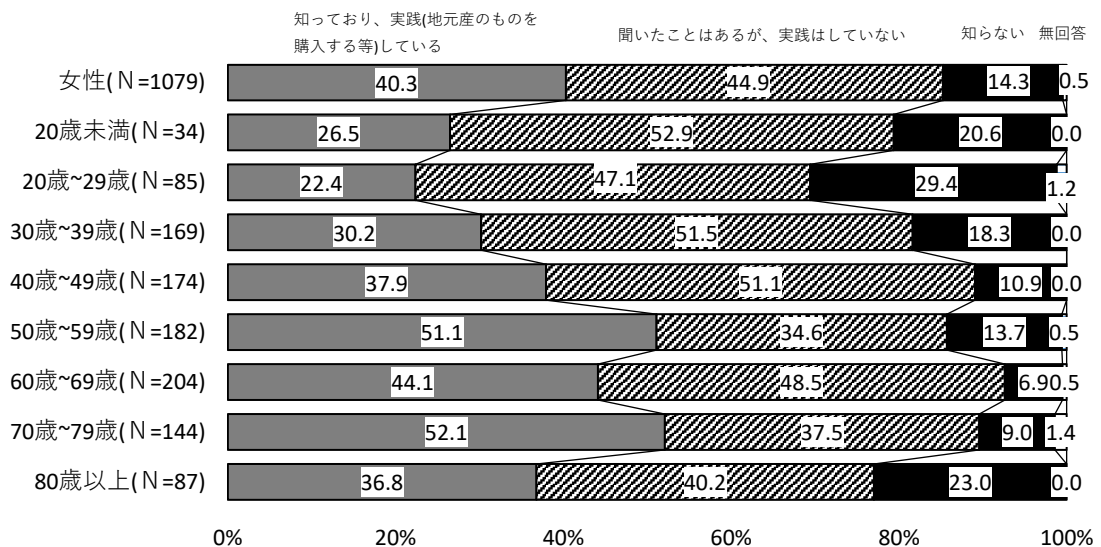


「地産地消」の考えについて、「知っており、実践（地元産のものを購入する等）している」の割合は33.9%となっています。「聞いたことはあるが、実践はしていない」の割合が50.9%と最も高くなっています。

[男性]

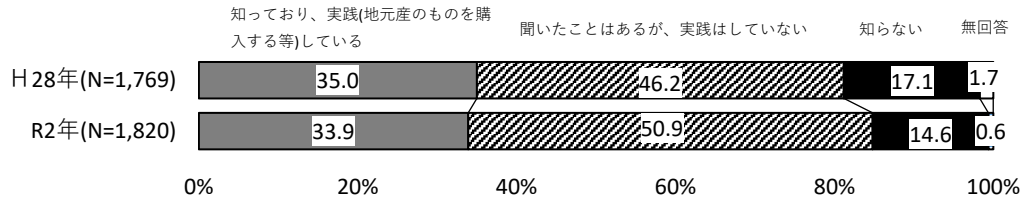


[女性]



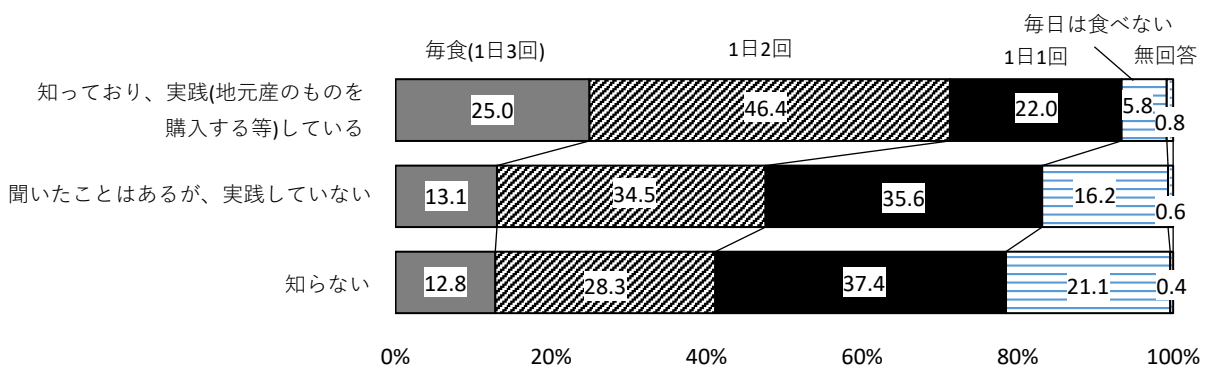
性・年代別にみると、20歳以上で男性より女性が「知っており、実践（地元産のものを購入する等）している」の割合が高くなっており、女性の50歳～59歳、70歳～79歳では50%を超えています。「知らない」の割合は、男性の20歳～29歳、女性の29歳以下、80歳以上で20%を超えています。

【前回との比較】



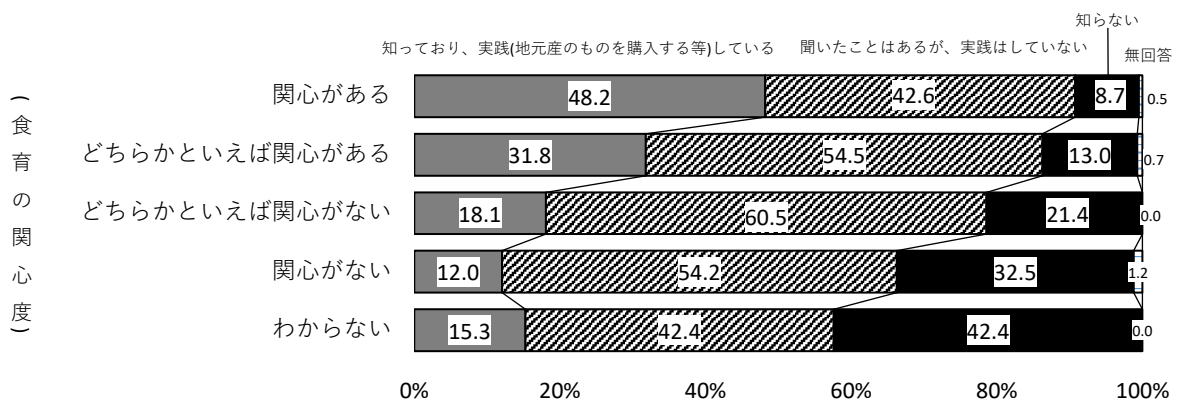
前回H28年と比較すると、「聞いたことはあるが、実践はしていない」割合は増加しており、「知っている、実践（地元産のものを購入する等）している」、「知らない」割合は、それぞれ1.1%、2.5%減少しています。

[地産地消認知別 野菜の摂取状況]



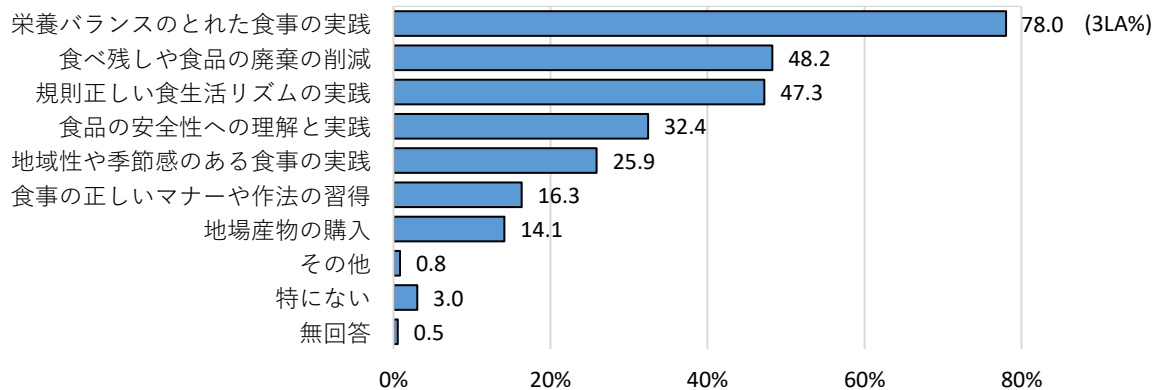
地産地消の認知別に野菜の摂取状況を見ると、知っている、実践（地元産のものを購入する等）している区分（認知別）の人では、1日1回以上野菜を食べる人の割合が93.4%と高くなっています。知らない区分（認知別）の人では「毎日食べない」割合が21.1%となっています。

[食育の関心度別 地産地消の認知状況]



食育の関心度別に地産地消の認知状況を見ると、関心がある人の区分では「知っている、実践（地元産のものを購入する等）している」割合が48.2%と最も高くなっています。

問23 あなたは今後の食生活で、どのようなことを心がけたいと思いますか。



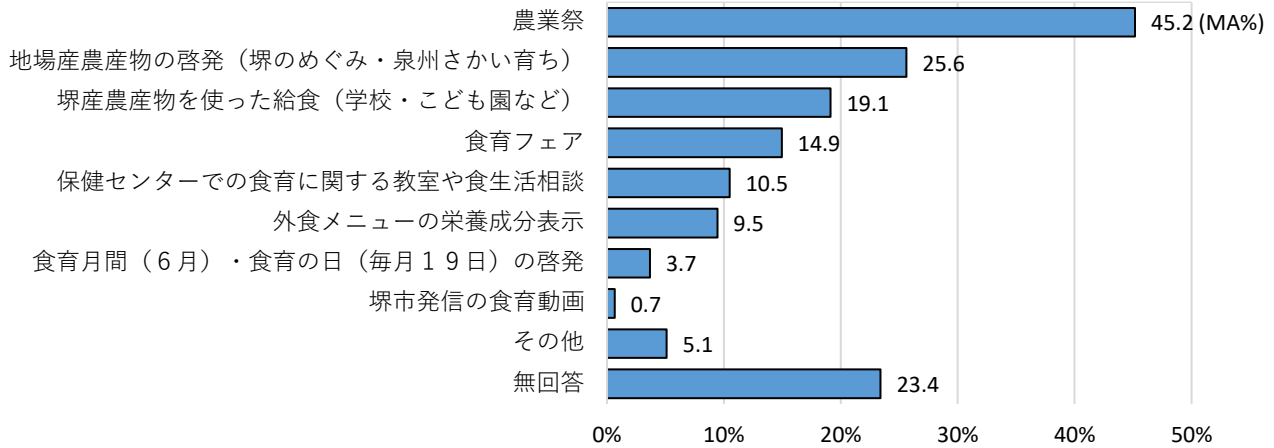
今後の食生活で心がけたいことについて、「栄養バランスのとれた食事の実践」の割合が78.0%と最も高く、次いで「食べ残しや食品の廃棄の削減」が48.2%、「規則正しい食生活リズムの実践」が47.3%となっています。

(%)

	N	実践栄養バランスのとれた食事の	規則正しい食生活リズムの実	習得食事の正しいマナーや作法の	実践地域性や季節感のある食事の	地場産物の購入	食べ残しや食品の廃棄の削減	食品の安全性への理解と実践	その他	特にない	無回答	
全体	1820	78.0	47.3	16.3	25.9	14.1	48.2	32.4	0.8	3.0	0.5	
男性	総数	727	71.7	51.2	13.3	20.9	10.2	52.4	30.5	1.4	4.7	0.7
	20歳未満	34	64.7	35.3	41.2	20.6	2.9	52.9	35.3	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	54	64.8	38.9	22.2	18.5	9.3	55.6	29.6	0.0	1.9	0.0
	30歳～39歳	101	76.2	48.5	16.8	15.8	9.9	44.6	21.8	1.0	8.9	1.0
	40歳～49歳	95	64.2	37.9	24.2	18.9	12.6	52.6	27.4	1.1	6.3	0.0
	50歳～59歳	95	76.8	46.3	8.4	23.2	8.4	60.0	34.7	0.0	0.0	0.0
	60歳～69歳	176	76.1	60.8	9.7	20.5	8.0	51.1	31.3	1.7	5.7	0.0
	70歳～79歳	122	68.0	60.7	3.3	23.8	15.6	53.3	36.9	2.5	5.7	0.8
	80歳以上	48	70.8	58.3	4.2	27.1	10.4	52.1	25.0	4.2	2.1	6.3
女性	総数	1079	82.2	44.5	18.2	29.3	17.0	45.4	33.7	0.5	1.9	0.5
	20歳未満	34	79.4	67.6	52.9	5.9	5.9	35.3	20.6	0.0	2.9	0.0
	20歳～29歳	85	83.5	43.5	38.8	20.0	5.9	43.5	27.1	1.2	4.7	1.2
	30歳～39歳	169	82.2	42.6	30.2	28.4	13.0	39.1	31.4	0.6	1.8	0.0
	40歳～49歳	174	79.9	31.6	27.6	33.3	16.7	46.0	30.5	1.7	2.9	0.0
	50歳～59歳	182	86.3	44.0	12.6	33.0	22.0	42.9	40.1	0.0	0.0	0.5
	60歳～69歳	204	82.4	47.5	3.9	34.8	21.1	53.4	37.3	0.0	0.5	0.0
	70歳～79歳	144	81.9	50.0	5.6	27.8	20.1	49.3	37.5	0.0	2.8	1.4
	80歳以上	87	78.2	50.6	8.0	23.0	14.9	42.5	28.7	0.0	3.4	1.1

性・年代別にみると、男女ともにすべての年代で、「栄養バランスのとれた食事の実践」の割合が最も高くなっています。男性では30歳～39歳を除き、「食べ残しや食品廃棄の削減」の割合が50%を超えています。男性の20歳未満、女性の29歳以下では「食事の正しいマナーや作法の習得」が他の年代と比べて高くなっていま

問24 堺市では、食育推進のために下記をはじめとする様々な取り組みを行っています。あなたが知っている番号をすべて選んで○をつけてください。



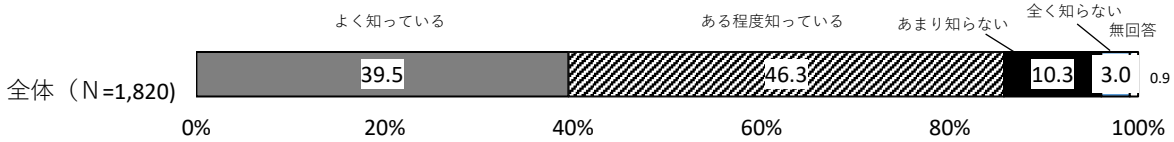
食育推進のための様々な取り組みの認知について、「農業祭」の割合が45.2%と最も高く、次いで「地場産農産物の啓発」が25.6%、「堺産農産物を使った給食」が19.1%となっています。

(%)

	N	農業祭	食育フェア	(食育月間(6月)・食育の日(毎月19日)の啓発)	堺産農産物を使った給食(学校・こども園など)	外食メニューの栄養成分表示	地場産農産物の啓発(『堺のめぐみ』『泉州さかい育ち])	保健センターでの食育に関する教室や食生活相談	堺市発信の食育動画	その他	無回答
全体	1820	45.2	14.9	3.7	19.1	9.5	25.6	10.5	0.7	5.1	23.4
男性	727	39.6	10.9	2.1	14.2	10.3	18.8	4.5	1.0	7.6	31.4
20歳未満	34	26.5	17.6	14.7	23.5	8.8	23.5	5.9	0.0	5.9	14.7
20歳～29歳	54	24.1	13.0	3.7	14.8	13.0	16.7	3.7	1.9	16.7	27.8
30歳～39歳	101	15.8	8.9	3.0	15.8	13.9	6.9	5.0	0.0	14.9	36.6
40歳～49歳	95	25.3	7.4	0.0	22.1	13.7	21.1	7.4	0.0	10.5	33.7
50歳～59歳	95	45.3	12.6	3.2	14.7	9.5	15.8	3.2	1.1	5.3	32.6
60歳～69歳	176	49.4	9.7	0.0	13.6	9.1	20.5	1.7	0.6	5.1	31.3
70歳～79歳	122	52.5	10.7	0.8	6.6	6.6	27.9	5.7	0.8	1.6	35.2
80歳以上	48	66.7	12.5	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	6.3	6.3	20.8
女性	1079	49.1	17.6	4.6	22.3	8.6	30.2	14.5	0.5	3.2	18.1
20歳未満	34	29.4	11.8	14.7	55.9	8.8	29.4	11.8	2.9	2.9	17.6
20歳～29歳	85	18.8	12.9	8.2	20.0	8.2	28.2	17.6	0.0	5.9	24.7
30歳～39歳	169	24.9	14.8	4.7	27.2	13.0	22.5	26.6	0.0	5.9	21.9
40歳～49歳	174	31.0	23.0	8.6	38.5	5.7	32.2	14.9	0.6	4.6	16.7
50歳～59歳	182	58.8	19.8	3.3	22.0	7.1	34.1	15.4	1.1	3.8	13.7
60歳～69歳	204	69.6	17.6	2.0	14.2	8.8	33.8	12.7	0.0	0.5	17.2
70歳～79歳	144	72.2	18.1	3.5	12.5	9.0	35.4	4.9	0.0	0.7	13.2
80歳以上	87	63.2	13.8	0.0	5.7	8.0	18.4	5.7	1.1	2.3	26.4

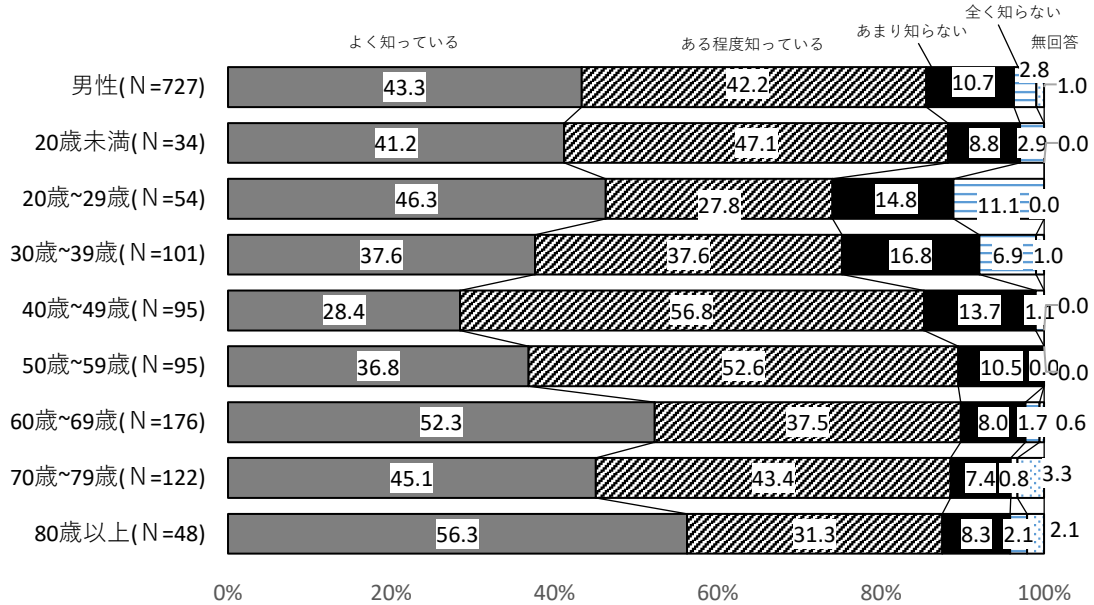
性・年代別にみると、男性のすべての年代、女性の50歳以上では「農業祭」、女性の20歳未満、30歳～49歳では「堺産農産物を使った給食」、女性の20歳～29歳では「地場産農産物の啓発(『堺のめぐみ』『泉州さかい育ち])」の割合が最も高くなっています。女性の30歳～39歳では「保健センターでの食育に関する教室や食生活相談」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

問25 あなたは「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。

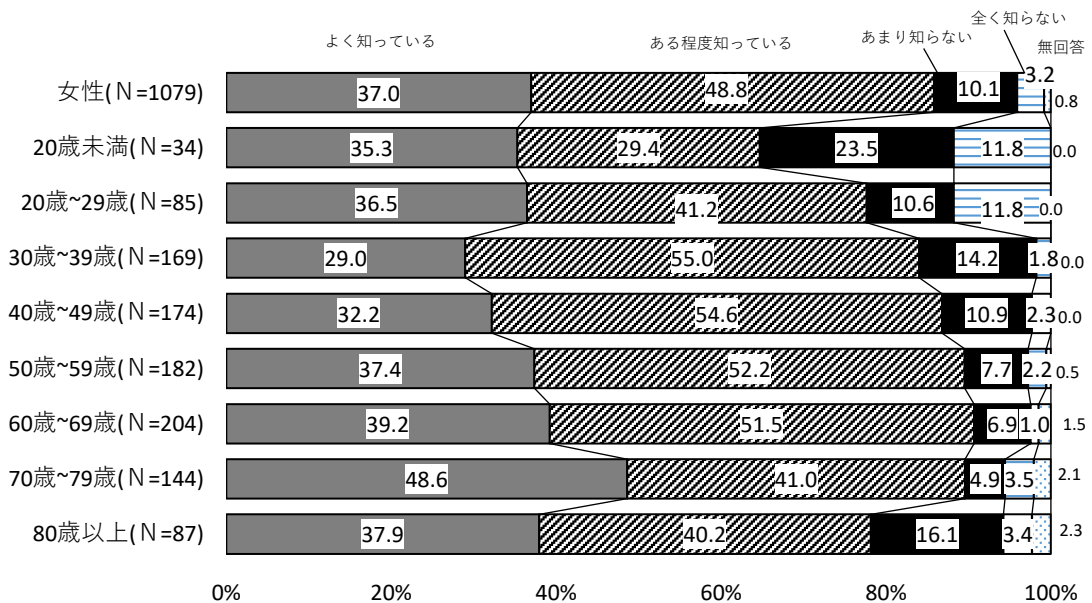


「食品ロス」が問題となっていることについて、『知っている』（「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計）の割合が85.8%となっています。

[男性]

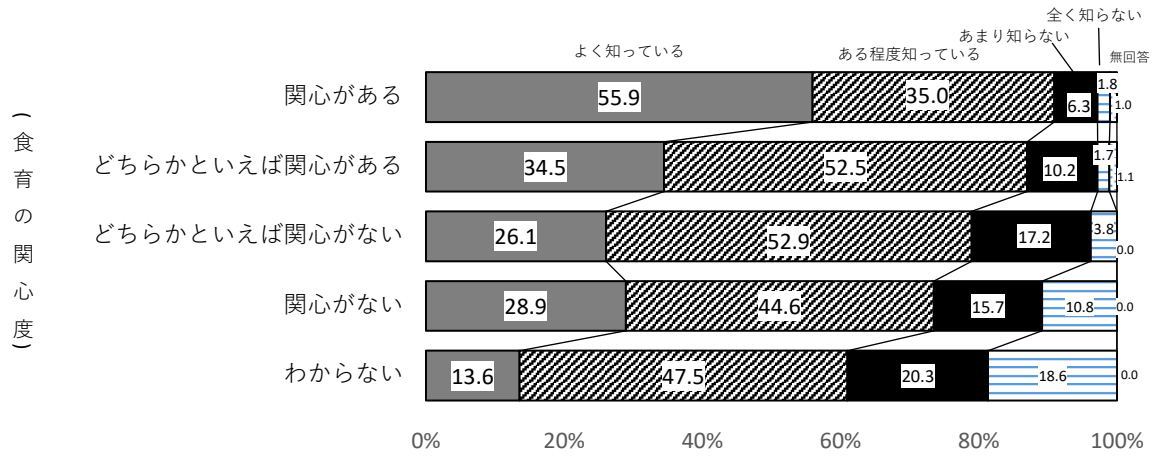


[女性]



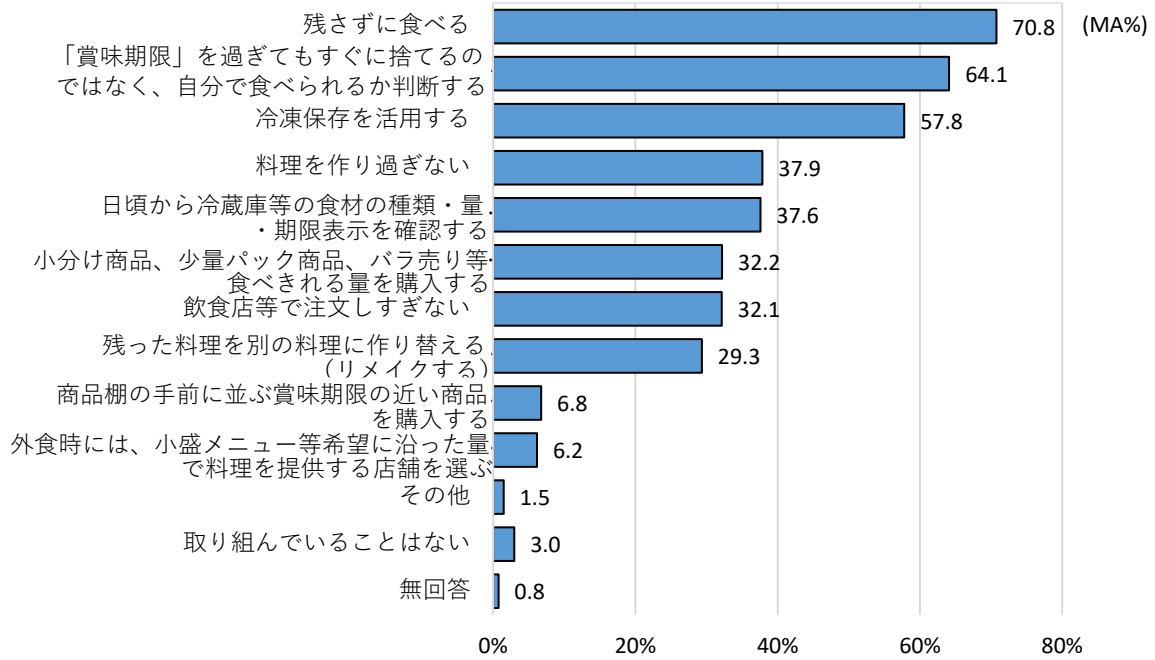
性・年代別にみると、男性の20歳~39歳、女性の20歳未満、80歳以上を除き、『知っている』の割合は80%を超えています。

[食育の関心度別 食品ロスへの認知度]



食育に関心度別に、食品ロスの認知度をみると、関心がある区分の人では『知っている』の割合が90.9%と最も高くなっています。

問26 あなたは「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。



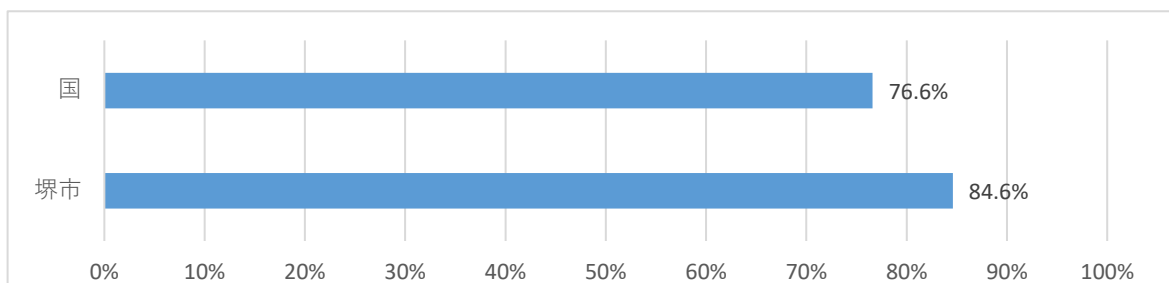
「食品ロス」を減らすために取り組んでいることについて、「残さずに食べる」が70.8%と最も高く、次いで「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が64.1%、「冷凍保存を活用する」が57.8%となっています。(%)

	N	料理を作り過ぎない	残さずに食べる	残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	冷凍保存を活用する	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	食べられるか判断するのではなく、自分で捨てるか判断する	賞味期限を過ぎてもすぐ購入する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	飲食店等で注文しすぎない	希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	外食時には、小盛メニュー等	その他	取り組んでいることはない	無回答
全体	1820	37.9	70.8	29.3	57.8	37.6	64.1	32.2	6.8	32.1	6.2	1.5	3.0	0.8		
男性	727	30.3	75.8	15.8	45.9	27.4	57.6	25.2	6.1	30.8	4.8	1.2	4.1	1.4		
20歳未満	34	23.5	85.3	14.7	44.1	23.5	44.1	11.8	5.9	23.5	2.9	0.0	2.9	0.0		
20歳～29歳	54	22.2	74.1	22.2	44.4	25.9	59.3	14.8	9.3	42.6	9.3	0.0	3.7	0.0		
30歳～39歳	101	24.8	76.2	10.9	45.5	20.8	48.5	22.8	4.0	18.8	1.0	1.0	11.9	1.0		
40歳～49歳	95	23.2	75.8	16.8	33.7	18.9	52.6	17.9	9.5	46.3	2.1	3.2	3.2	1.1		
50歳～59歳	95	30.5	80.0	17.9	49.5	25.3	61.1	28.4	5.3	31.6	2.1	0.0	2.1	1.1		
60歳～69歳	176	35.8	75.0	14.8	47.7	35.2	59.7	32.4	5.1	30.7	8.0	0.6	2.8	0.6		
70歳～79歳	122	33.6	71.3	16.4	48.4	26.2	61.5	23.8	4.9	27.0	7.4	1.6	3.3	3.3		
80歳以上	48	39.6	75.0	14.6	52.1	37.5	70.8	35.4	8.3	25.0	2.1	4.2	2.1	4.2		
女性	1079	42.7	67.5	38.4	65.7	44.6	68.5	37.3	7.3	33.1	7.1	1.7	2.1	0.4		
20歳未満	34	14.7	79.4	8.8	29.4	17.6	52.9	20.6	2.9	41.2	2.9	0.0	8.8	0.0		
20歳～29歳	85	32.9	80.0	31.8	57.6	29.4	58.8	27.1	10.6	43.5	3.5	3.5	5.9	0.0		
30歳～39歳	169	40.8	68.6	39.6	68.6	49.1	74.0	33.7	9.5	34.9	5.3	1.2	3.6	0.0		
40歳～49歳	174	36.2	64.9	39.1	69.0	37.4	69.5	35.6	6.9	34.5	2.3	2.3	1.1	0.0		
50歳～59歳	182	45.1	64.3	47.8	65.4	47.3	66.5	35.7	7.1	36.3	5.5	1.6	0.0	0.0		
60歳～69歳	204	52.0	69.6	37.7	68.6	50.0	72.1	41.2	5.4	34.3	12.3	0.5	0.0	0.5		
70歳～79歳	144	49.3	60.4	42.4	72.2	55.6	71.5	47.9	6.3	25.7	12.5	1.4	4.2	0.7		
80歳以上	87	42.5	66.7	27.6	58.6	39.1	62.1	40.2	9.2	16.1	8.0	3.4	1.1	2.3		

性・年代別にみると、男性のすべての年代、女性の29歳以下、80歳以上では「残さずに食べる」、女性の30歳～69歳では「『賞味期限』を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」、70歳～79歳では「冷凍保存を活用する」の割合が最も高くなっています。

「取り組んでいることはない」の割合は、男性の30歳～39歳では11.9%と他の年代に比べて高くなっています。

[食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合]



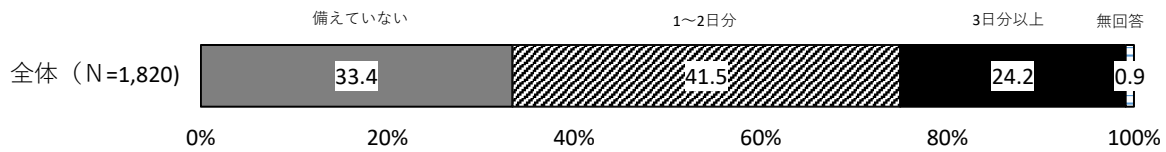
食品ロス問題を認知して食品ロス削減に取り組む人の割合を集計したところ、食品ロス問題を「知っている」と回答し、食品ロスを減らすための「取組を行っている」と回答した人は堺市では84.6%であった。

令和2年度の消費者庁の調査結果(※)と比べると堺市は国と比べて8.0ポイント高くなっている。

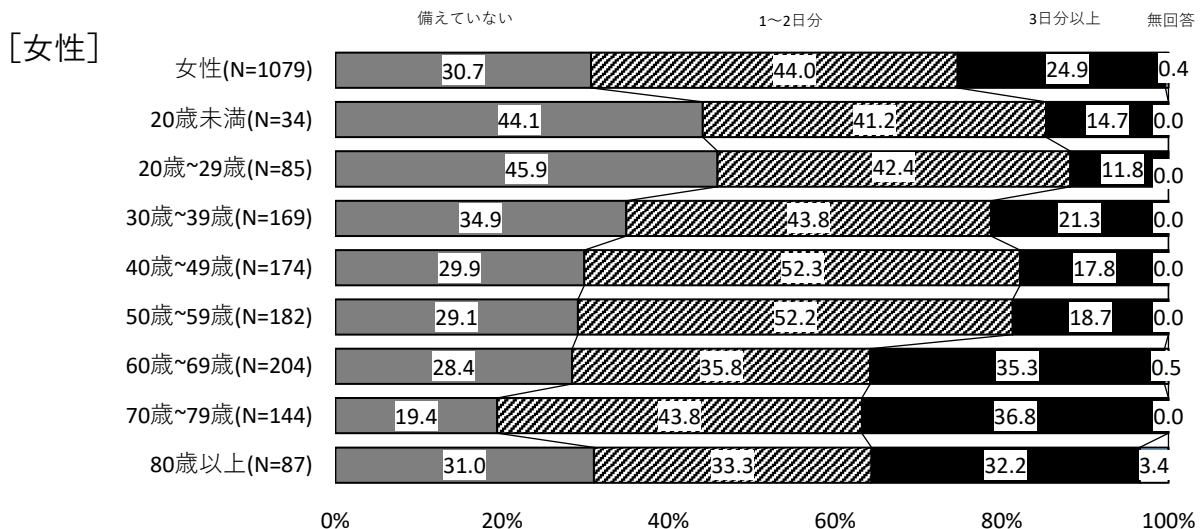
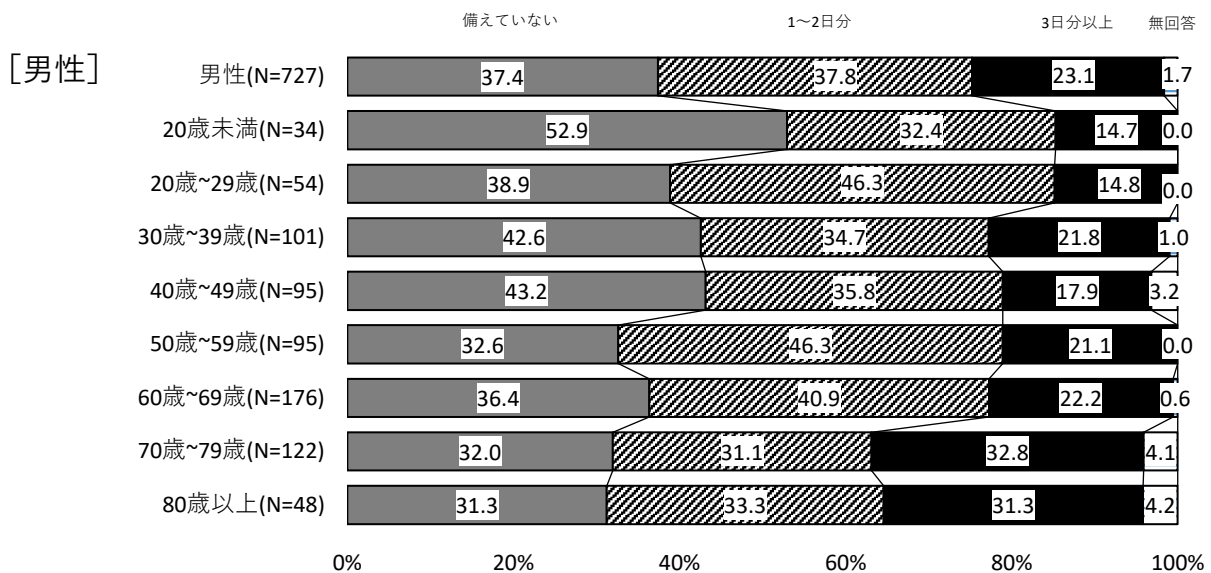
※令和2年度 消費者の意識に関する調査 結果報告書

消費者庁消費者教育推進課 食品ロス削減推進課（令和3年4月）参照

問27 あなたは災害時に備え、世帯員1人あたりどのくらいの非常用の飲料水を備えていますか。(飲料水の1日分の目安はおおよそ3リットルです)

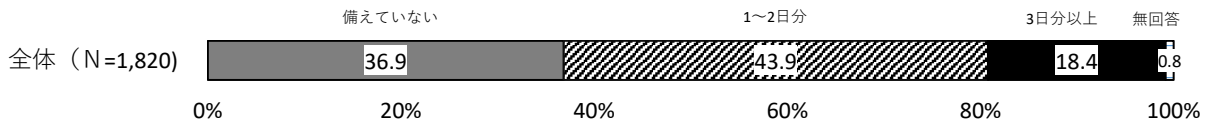


災害時に備え、世帯員1人あたりどのくらいの非常用の飲料水を備えているかについて、「1~2日分」の割合が41.5%と最も高く、次いで「備えていない」が33.4%、「3日分以上」が24.2%となっています。

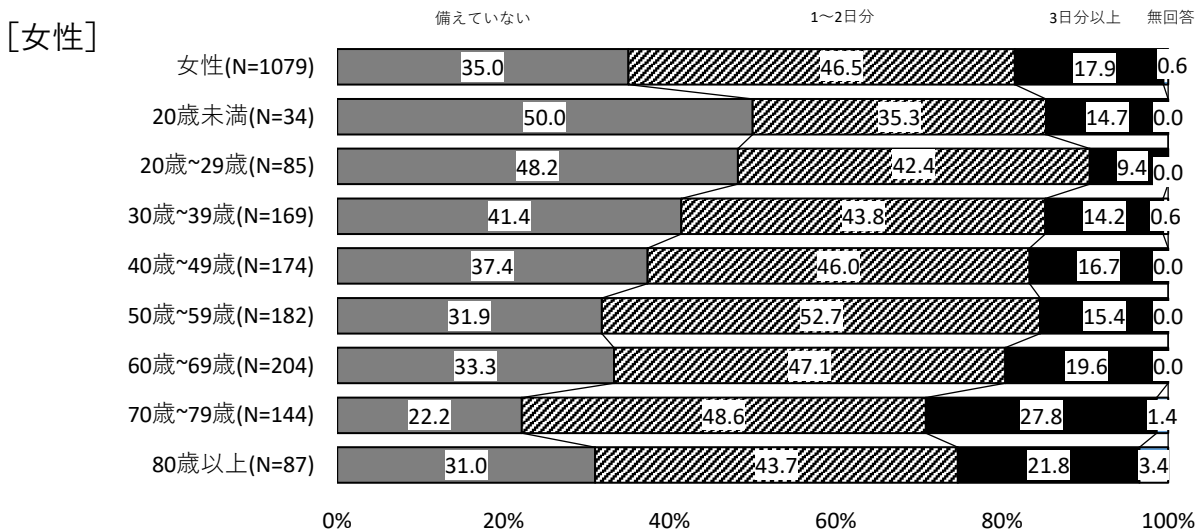
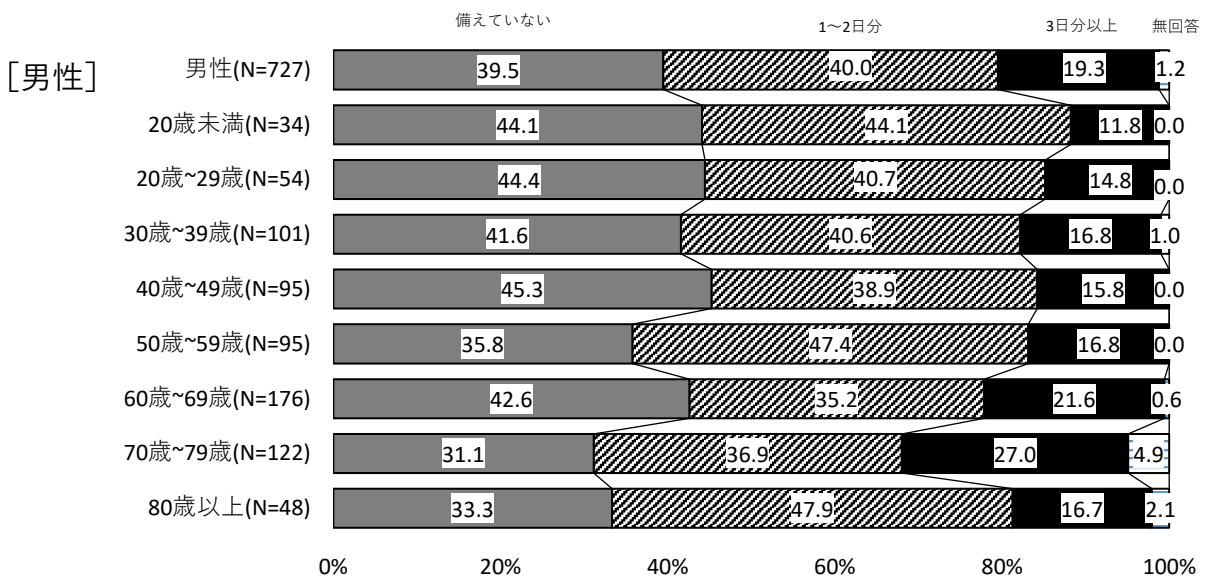


性・年代別にみると、男性の70歳以上、女性の60歳以上で「3日分以上」の割合は30%を超えています。男性の20歳未満を除き、「1~2日分」または「3日分以上」の合計は50%を超えています。

問28 あなたは災害時に備え、世帯員1人あたりどのくらいの非常用の食料品を備えていますか。(食料品の1日分の目安は3食分です)



災害時に備え、世帯員1人あたりどのくらいの非常用の食料品を備えているかについて、「1~2日分」の割合が43.9%と最も高く、次いで「備えていない」が36.9%、「3日分以上」が18.4%となっています。



性・年代別にみると、男性の60歳~79歳、女性の70歳以上で「3日分以上」の割合は20%を超えています。男性のすべての年代、女性の20歳以上で「1~2日分」または「3日分以上」の割合の合計は50%を超えています。